広田遺跡ミュージアム館報

第1号

平成29年3月

南種子町広田遺跡ミュージアム

はじめに

広田遺跡は、昭和32年から34年にかけて、地元の方々が多数参加し、発掘が行われました。 広田集落の長老であった向井長助、向井嘉助、長田仙兵氏らは、発掘を主催した国分直一、金 関丈夫、盛園尚孝氏ら一流の研究者に接し、自分の足元にすばらしい遺跡が出現したのを見る に及んで、自分たちが住む地域の歴史の豊かさに気がついたのです。そして、昭和38年に平 山郷土文化保存会を結成し、生涯、平山地区の民俗・郷土芸能の保存と伝承に尽力されました。 また、平山の民家を歩き、民具を集め、平山小学校正門前に小さな民具館「平山郷土民具館」 をつくりました。この活動がきっかけとなり、後に南種子町郷土館が建てられると、それらの 民具は同館に移管され、貴重な民具資料として今も大切に保管されています。その他、同保存 会が伝承する「蚕舞」「座敷舞」は、平成7年に国の記録作成等の措置を講ずべき無形民俗文 化財に選択されました。

そのほか、広田集落の人々は、広田遺跡のすぐそばに藁葺きの小屋をつくり、広田遺跡の価値と平山の民俗を子どもたちに伝え続けてきました。この集落に伝承される広田の石塔祭りは、国の文化財となってもよいくらいの貴重な習俗です。このように、広田遺跡の発掘をきっかけとして、平山の郷土文化を守る運動がはじまりました。種子島では伝統文化を大切に継承してきた所として、昔も今もまず先に平山の名前があがります。

広田遺跡ミュージアムでは、昭和32~34年の発掘に参加した方や、この地域に住む人々が語り部として館内や遺跡公園だけでなく、広田の石塔山、岩穴、馬の神などの民俗文化財も案内してくださいます。案内の道すがら、種子島の民謡「草切節」などを歌ってくださる語り部もいます。広田遺跡ミュージアムは、遺跡を紹介するだけの館ではありません。語り部の皆様が民俗文化をひっくるめた、この地域の文化遺産全てを語り伝えてくれる、企画展では、種子島の豊かな民俗文化も紹介する、そうした地域の人々が主役の新しい博物館を目指しています。

本館の開館から館運営に至るまで、多くの皆様方のご支援とご協力をいただきましたことに、 心より感謝いたしますとともに、今後も皆様方のご指導、ご助言を賜りますようお願い申し上 げます。

平成 29 年 3 月

広田遺跡ミュージアム 名誉館長 下野 敏見

目 次

はじめに	
第1章 館の概要	
第1節 沿革	1
第 2 節 概要 ······	··· 5
第3節 組織	11
1. 館の組織	11
2. 館職員事務分掌	12
3. 南種子町広田遺跡ミュージアム協議会	13
第4節 利用状況	14
第5節 関係条例・規則等	15
1. 南種子町広田遺跡ミュージアム条例	15
2. 南種子町広田遺跡ミュージアム協議会規則	18
3. 南種子町国史跡広田遺跡公園条例	19
4. 南種子町国史跡広田遺跡公園条例施行規則	20
第2章 館の事業	
第1節 展示	21
1. 常設展示	21
2. 企画展示・イベント	25
第2節 教育•普及啓発	29
1. 教育・普及啓発活動	29
2. 博物館実習	33
3. 研修等 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	33
第3節 調査・研究	35
第 4 節 管理•運営	36
1. 広田遺跡語り部の会	36
2. 視察等 ·····	41
3. その他	42
第5節 資料の収集・保管	44
1. 重要文化財	44
2. 重要文化財の保存処理	
3. 資料の貸し出し	47
4. 重要文化財の管理	47
5. 収蔵資料台帳	48

第1章 館の概要

第1節 沿革

南種子町広田遺跡ミュージアムは、国史跡広田遺跡及び国重要文化財広田遺跡出土品が地域に住む人々と深い関わりの中で保護・活用がなされてきたことを踏まえて、平成24年度より整備が行われ、平成27年に開館した。この節では、地元の人々による遺跡の発見から発掘、活用、保護、整備、運営にいたる沿革を年表形式で紹介したい。

昭和30年 地元広田集落の人々(長田茂氏ほか)により遺跡が発見される

昭和32年~ 盛園尚孝・国分直一氏らによる発掘調査(第一次~第三次)

34 年度

昭和30年代 広田砂丘に護岸を設置

昭和38年 平山郷土文化保存会発足

平成 15 年度 広田遺跡発掘調査報告書刊行(鹿児島県歴史資料センター黎明館)

遺跡周辺の分布調査及び確認調査

平成 15 年度 広田遺跡企画展(昭和 30 年代の発掘調査出土品を南種子町で初展示。

盛園尚孝氏・肱岡隆夫氏による記念講演)

平成 16 年度 遺跡周辺の分布調査及び確認調査(町内遺跡発掘調査等事業), 発掘調

查現地説明会実施

平成 17 年度 台風で砂丘北側が崩落。土嚢と堆砂垣を設置し保護

平成 17 年~ 広田遺跡範囲確認調査(町内遺跡発掘調査等事業), 発掘調査現地説明

18 年度 会実施

平成 18 年度 発掘調査終了後、海岸側砂丘斜面に大型土嚢を設置、砂を被覆し保護

平成 18 年度 町ふるさと祭で平成 17 - 18 年度の発掘調査出土品を展示

平成 18 年度 昭和 32-34 年発掘調査出土品 国の重要文化財に指定(6月9日)

平成19年度 平成16年~18年調査の調査報告書刊行(町内遺跡発掘調査等事業)

平成 19 年度 広田遺跡の土地購入事業実施、町有地化

広田川側に保護のため護岸建設工事実施

平成19年度 広田遺跡 国史跡に指定(平成20年3月28日)

平成20年度 遺跡説明版・昇降階段の設置、環境整備(植樹)を実施

(鹿児島県森林環境税地域森林環境づくり促進事業)

平成 20 年度 広田遺跡普及啓発事業の実施(埋蔵文化財保存活用整備事業)

・郷土館特別講座「広田人の謎~人類学が迫る種子島のルーツ~」

・広田遺跡国史跡記念シンポジウム「広田遺跡の謎に迫る。」

・広田遺跡イラストコンテスト(文化財保護強調週間ポスター用)

・広田遺跡普及啓発用パンフレット作成

・広田遺跡国史跡指定記念企画展(郷土館)

・「発見された日本列島 2008 展」(文化庁主催)で南種子町所有出土品展示

平成21年度 平成17-18年発掘調査出土品 国の重要文化財に指定(7月10日)

平成 21 年度 広田遺跡重要文化財指定記念企画展「広田遺跡を体感する。」

平成 21 年度 国史跡広田遺跡史跡整備基本構想策定,海岸調査

平成 22 年度 広田遺跡普及啓発事業の実施(埋蔵文化財保存活用整備事業)

・広田遺跡であそビーチ

・みなみたね古代探検隊、宇宙と考古学講座

・遺跡写真コンテスト

・ 貝輪作成ビデオ作成

・広田遺跡であそぼう!! 広田遺跡体験学習資料本作成 等

平成22年度 海岸調査・養浜のための堆砂垣設置

国史跡広田遺跡史跡整備基本計画 • 基本設計策定

平成 23 年度 広田遺跡普及啓発事業の実施(国庫補助:史跡等及び埋蔵文化財公開活用 事業)

・広田遺跡古代人キャンプ

• 古代体験講座

・広田遺跡普及啓発パンフレット作成

平成 23 年度 広田遺跡海岸調査委託

平成24年度 広田遺跡Ⅲ遺跡(西側丘陵地区)の試掘確認調査(町内遺跡発掘調査等事業)

平成24年度 貝細工講座 等

平成 24 年 広田遺跡史跡整備等事業 (H24 ~ H26) (地域の特性を生かした史跡等総合活用支援推進事業)

· 国史跡広田遺跡史跡整備実施設計

・ガイダンス施設工事基本計画・基本設計・実施設計

• 地質調査

· 保護護岸嵩上工事

· 広田遺跡用地購入事業

・ 広田遺跡用地造成に伴う測量設計業務委託

• 広田遺跡用地造成工事

平成25年度 観光ボランティア講座(語り部育成)

平成 25 年度 広田遺跡史跡整備等事業 (H24 ~ H26) (地域の特性を生かした史跡等総合活用支援推進事業)

• 保護護岸嵩上工事

• 環境整備工事

・ガイダンス施設工事

• 用地造成工事

• 用地擁壁工事

平成 26 年度 広田遺跡史跡整備等事業(H24 ~ H26)(地域の特性を生かした史跡等総 合活用支援推進事業)

• 環境整備工事

- ・ガイダンス施設工事
- · 重要文化財保管室整備事業
- 広田遺跡出土品保存修理事業(美術工芸品保存修理事業)
- 国史跡広田遺跡公園駐車場整備事業(鹿児島県補助事業:地域振興推進事業)

平成 26 年度 たねがしま古代塾開講(語り部育成)

古代アクセサリー講座(博物館展示貝製品製作)

12月:広田遺跡語り部の会結成

2月:広田遺跡ジュニア学芸員開始

3月:南種子町広田遺跡ミュージアムオープン 開館記念シンポジウム開催 開館記念特別展「広田の民俗」

平成27年度 2月:防災訓練実施

たねがしま古代塾、広田遺跡ジュニア学芸員実施

5月:GW イベント「むかしのこどもの遊び」体験 企画展「広田の民俗と新指定の逸品展」

5月:奄美考古学会 広田遺跡ミュージアムで開催

10月:国民文化祭かごしま 2015 企画展「黒潮が育んだ古代文化と宇宙 芸術展」

11月:国民文化祭かごしま 2015 シンポジウム「黒潮が育んだ古代文化と 宇宙芸術」

12月:下野敏見名誉館長による特別講座実施

3月:開館1周年記念特別展「広田の風俗・習慣」

3月:開館1周年記念イベント「広田の岩穴焚き」

平成28年度 たねがしま古代塾、広田遺跡ジュニア学芸員実施

4月:企画展「南種子の神社・仏閣に伝わる逸品展」

5月:GW イベント「むかしのこどもの遊び」体験

6月:「鉄砲伝来と西村織部丞」展

8月:第8回世界考古学会議(WAC8)で広田遺跡ミュージアムの取り組 みを紹介

9月:下野敏見名誉館長による語り部の特別指導

1月:奄美市史跡小湊フワガネク遺跡シンポジウムで広田遺跡ミュージアムの取り組みを紹介

3月:開館2周年記念イベント「広田の岩穴焚き」

史跡整備・ガイダンス施設建設に伴い、有識者による国史跡広田遺跡史跡整備検討委員会 と町内有識者による広田遺跡史跡整備推進委員会(以下、推進委員会)を設置した。開催年 次は次のとおりである。

《国史跡広田遺跡史跡整備検討委員会》

委員長 和歌山県立風土記の丘館長 高瀬 要一

委員 熊本大学 文学部 教授 木下 尚子

委員 鹿児島大学水産学部 教授 藤枝 繁

委員 鹿児島大学水産学部 教授 西 隆一郎 (H23~H26)

委員 町文化財保護審議委員会長 羽生 源志

オブザーバー 文化庁記念物課 文化財調査官 禰宜田 佳男(H20) 文化庁記念物課 文化財調査官 市原 富士夫(H21~H26) 鹿児島県県文化財課 堂込 秀人

○国史跡広田遺跡史跡整備検討委員会

名	称	日 時	内容								
平成 20 年度	第1回	H20,9.22	整備・活用の方向性について								
十成 20 平度	第2回	H21.1.26	整備の方向性について								
平成 21 年度	第3回	H22.2.12	基本構想・基本計画について								
平成 22 年度	第4回	H23.3.2	基本計画について(推進委員会と合同開催)								
平成 23 年度	第5回	H23.11.18	基本計画・基本設計について								
平成 24 年度	第6回	H24.7.26	ガイダンス施設位置計画、動線計画等について								
十八人 24 平皮	第7回	H24.10.5	遺構の表現方法、ガイダンス施設設計等について								
亚战 25 年度	第8回	H25.9.18	ガイダンス施設展示・活用計画等について								
十成 25 平度	平成 25 年度 第 9 回 H		遺跡、ガイダンス、展示の計画等について								
平成 26 年度	第 10 回	H26.6.11	整備事業報告書,館の運用計画等について								
十八人 20 年及	第11回	H27.3.1	整備事業報告書、今後の活用等について								

第2節 概要

1. 博物館の名称 : 広田遺跡ミュージアム

2. 博物館の所在地 :鹿児島県熊毛郡南種子町平山 2571 番地

3. 設立年月日 : 平成 27 年 3 月 1 日

4. 設置者の名称及び住所

設置者 :南種子町長 名越 修

設置者の住所 : 鹿児島県熊毛郡南種子町中之上 2793-1 5. 博物館の種別 : 人文系博物館(考古,歴史,民俗等)

6. 資料 : 考古資料 1,006 点, 図書 52 冊, 写真 3,768 枚

7. 施設の状況

土地面積(㎡): 857.17㎡ 床面積(㎡): 796.96㎡

8. 職員構成 :名誉館長1名,館長1名,学芸員2名,事務職員1名,

学芸員補2名

9. 開館日等(開館日,開館時間,入館料)

休館日 :毎週月曜日(ただし,月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23

年法律第 178 号)に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日)及び 12 月 29 日から翌年 1 月 3

日までの日。開館日数 平成27年度 315日

開館時間 :午前9時から午後5時

入館料等 :

区分	内	容	町	内	町	外	
	ry 	台	個人	団体	個人	団体	
	常設展示の	一般(高校生以上)	200円	150 円	300円	250 円	
観覧料	場合	子ども(中学生以下)	無料	無料	150円	100円	
	特別企画展示の)場合	教育	委員会でそ	の都度定め	る額	
	万丁 日机豆	初級コース			300 円		
A-ES-CHARLES	勾玉・貝殻ア クセサリー・ 中級コース				500 円		
体験学習料	貝輪づくりほか	上級コース		1,	000円		
	/J.	特設コース					

10. 建物概要

(1). 住所 鹿児島県熊毛郡南種子町平山 2571 番地

(2). 主要用途 博物館

(3). 面積 建築面積 857.17㎡

延床面積 796.96㎡ 延床面積 796.96㎡

バリアフリー法上の容積除外対象面積無

建蔽率16.53%容積率15.37%

(4). 高さ 軒高 7600 m

最高高さ 8350 m

(5). 構造・規模 RC 造り 1 階建て

(6). 基礎形式 直接基礎

(7). 仕上 屋根仕上 断熱アスファルト防水コンクリート押え

外壁仕上 二丁掛磁器タイル張り、コンクリート化粧打放し FCC

(9). 空調換気設備 熱電 電気

空調方式 空冷ヒートポンプ式パッケージ方式

換気方法 第一種(居室及び収蔵庫), 第三種(便所, 倉庫等)

(10). 給排水衛生設備

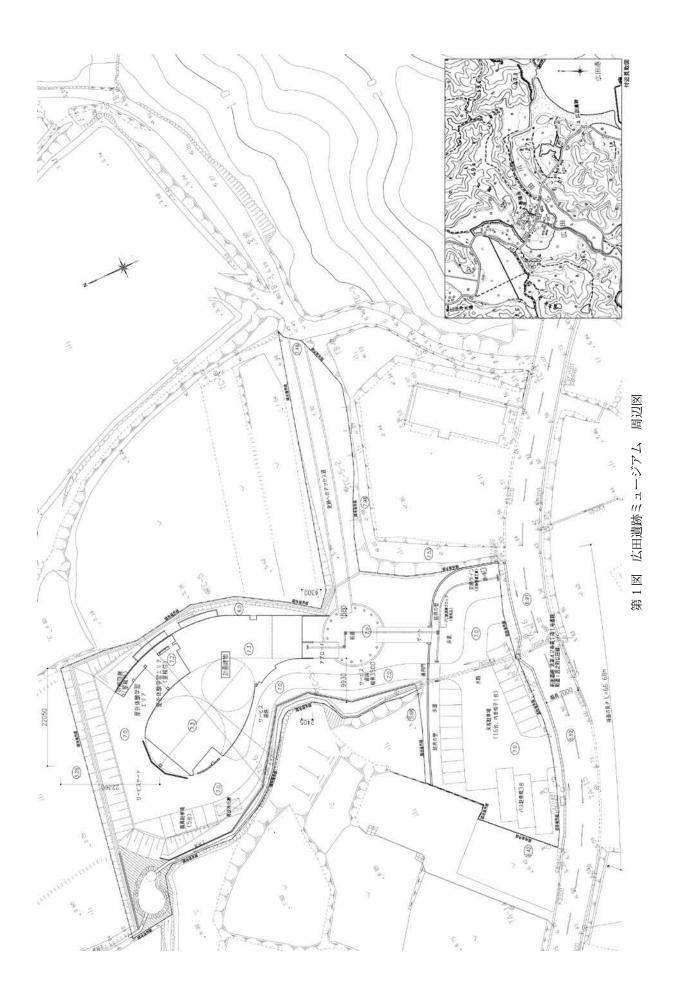
 給水
 水道直結方式

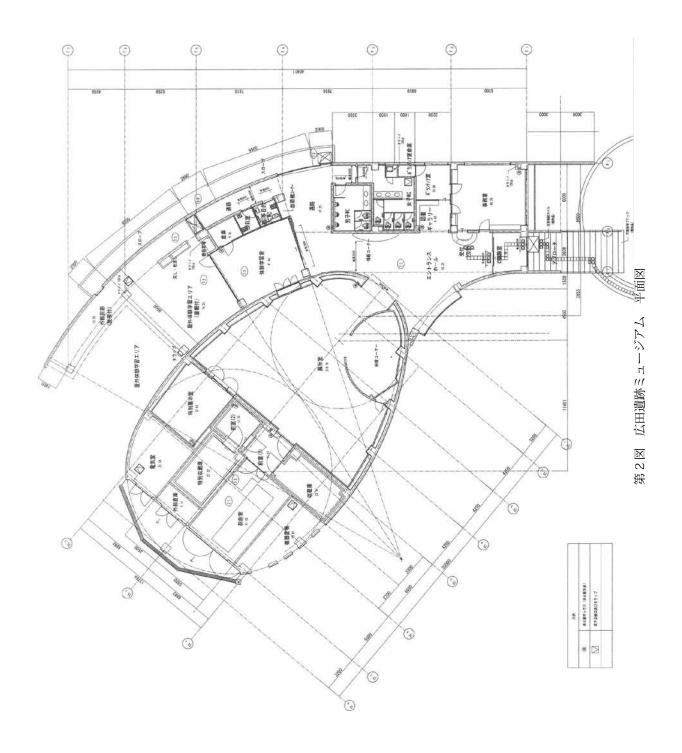
 給湯
 局所式給湯

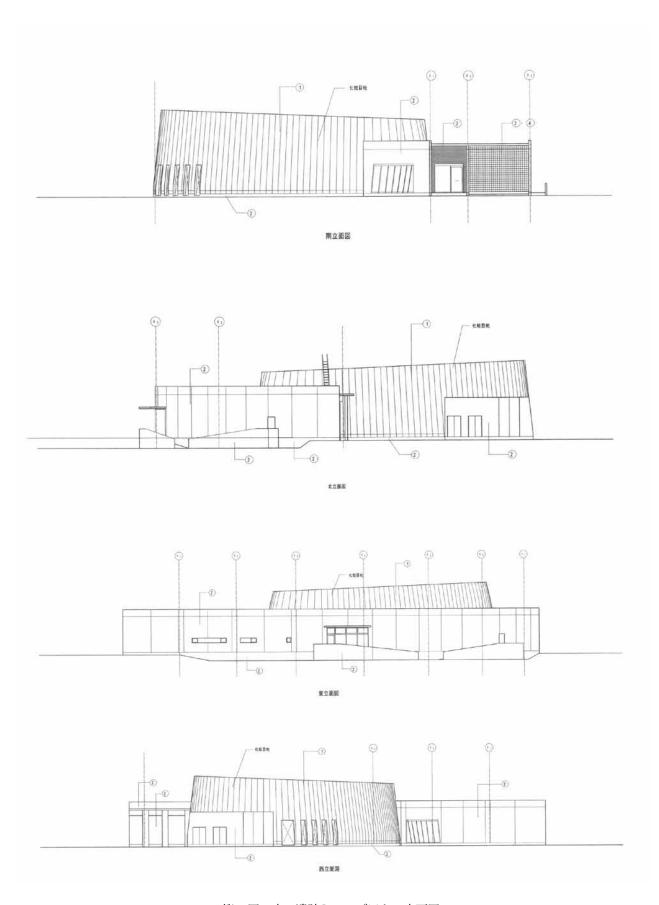
排水 浄化槽 70 人槽 BOD15mg / ℓ ユニット型

(11). 消化 消化器

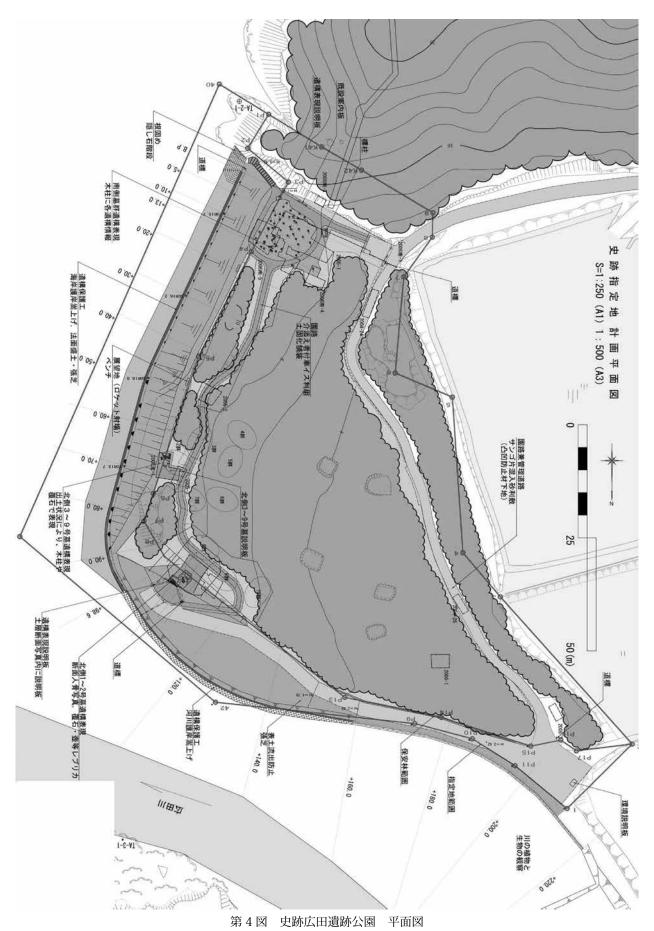
(12). その他の設備 太陽光発電装置 10kw







第3図 広田遺跡ミュージアム 立面図



第3節 組織

1. 館の組織

(1) 館職員数内訳

平成 27 年度

1 /2 (= 1 /2)					
役 職	専任 (正職)	兼任(正職)	非常勤	専任(契約職員)	計
名誉館長			1		1
館長			1		1
副館長		1			1
学芸員	1	1			2
庶務係長		1			1
学芸員補				2	2
合 計	1	3	2	2	8 人

[※]上記の他, 語り部を1日1名雇用している。

平成 28 年度

役 職	専任 (正職)	兼任(正職)	非常勤	専任(契約職員)	計
名誉館長			1		1
館長		1			1
学芸員	1	1			2
庶務係長		1			1
学芸員補				2	2
合 計	1	3	1	2	7 人

[※]上記の他、語り部を1日1名雇用している。

(2)館職員名簿

役 職	平成 27 年度	平成 28 年度			
名誉館長	下野敏見	下野敏見			
館長	羽生源志	髙田健一郎(社会教育課長)			
副館長	髙田健一郎(社会教育課長)	館長兼務			
学芸員 (専任)	石堂和博	石堂和博			
学芸員 (兼任)	小脇有希乃(文化係)	小脇有希乃(文化係)			
庶務係長(兼任)	濱田伸一(文化係長)	才川いずみ (文化係長)			
学芸員補 (学芸)	牛野夢美	牛野夢美			
学芸員補(庶務)	日髙智輝	有留理沙			

2. 館職員事務分掌

役 職	氏 名	主な職務分掌
名誉館長	下野敏見	博物館事業に関する助言
館長	髙田健一郎 (社会教育課長)	館の運営管理の総括に関すること
副館長	高田健一郎 (社会教育課長)	館長職務の補佐
学芸員(専任)	石堂和博	常設展示・特別展示に関すること 資料の収集・保管に関すること 重要文化財の保管に関すること 館報・図録その他刊行物の作成に関すること 専門的調査・研究に関すること 普及啓発・講座・広報等に関すること 運営協議会に関すること
学芸員(兼任)	小脇有希乃(文化係)	史跡公園の管理に関すること 体験学習に関すること 他の施設,学校等との連携に関すること
庶務係長(兼任)	才川いずみ(文化係長)	予算の編成執行に関すること 館の管理に関すること 予算経理, ミュージアムショップその他庶務の 総括に関すること
学芸員補(学芸)	牛野夢美	普及啓発・講座・広報等に関すること 資料の収集・保管に関すること 館,史跡公園の案内業務に関すること 受付・観覧料等の徴収に関すること
学芸員補(庶務)	有留理沙	受付・観覧料等の徴収に関すること 予算経理、ミュージアムショップその他庶務に 関すること 館、史跡公園の清掃及び管理に関すること 体験学習に関すること
語り部	原南海雄ほか6名	館,史跡公園の案内業務に関すること 館,史跡公園の清掃及び管理に関すること

組織図

館長-副館長-学芸員(専任、兼任)- 学芸員補(学芸担当)

□ 庶務係長(兼任) − 学芸員補(庶務担当)

南種子町広田遺跡ミュージアム協議会、名誉館長

3. 南種子町広田遺跡ミュージアム協議会

○委員名簿

役 職	平成 27 年度 平成 28 年度							
会 長	長田 忠	長田 忠						
副会長	岩澤 昭文	岩澤 昭文						
委 員	平野 性賢	日髙 友典						
采 吕	寺内 安弘(平成27年4月1日~5月22日)	柳田和則						
委 員	柳田 和則(平成28年1月22日~)	柳田 和則 						

○平成27年度 南種子町広田遺跡ミュージアム協議会

日時:平成27年5月20日(水)13時30分~17時

場所:広田遺跡ミュージアム

協議内容

・会長・副会長選任,入館者等状況,平成27年度事業計画,運営計画,重要文化財, 観覧料の減免等に関する内規等について

○平成28年度 南種子町広田遺跡ミュージアム協議会

日時:平成28年5月23日(月)15時~17時

場所:町役場研修センター1階西側会議室

協議内容

·入館者等状況,平成27年度事業実績,平成28年度事業計画,運営計画,重要文化財等

第4節 利用状況

①入館者数

平成 26 年度 2,429 名 (町内 1,268 名, 町外 1,161 名) 平成 27 年度 11,225 名 (町内 3,064 名, 町外 8,161 名)

②体験学習利用者数

平成 27 年度 981 名, 350,500 円 (初級 775 名 232,500 円, 中級 176 名 88,000 円, 上級 30 名 30,000 円)

③書籍販売

売り上げ:53,500円

平成 27 年度 郷土誌 4 冊,広田遺跡報告書 6 冊,南種子の民俗 9 冊 南種子の民具 6 冊,南種子の文化財 6 冊,南種子の文化財 21 冊

	平成 27 年度									広	田遺跡	弥ミコ	ニージ	アム	月月	川入館	状況				
					町	ſ	内	1							町		外(2)			
			小	子					体		小									体	
		開	以	ど		_	般		験		以		子と	ごも			_	般		験	
月月	日	館	下	ŧ					室	⊒ 1	下									室	±1
	数	数	(無料)	(無料)	個人	団体	半額減免	全額減免	(無料)	計	(無料)	個人	団体	半額減免	全額減免	個人	団体	半額減免	全額減免	(無料)	計
4月	30	26	2	51	118	0		9	15	195	22	39	16			338	19	16	5	15	470
5月	31	27	30	120	188	25	8		54	425	36	66	12		156	599	34	75	105	36	1,119
6月	30	25	8	128	54			7	429	626	11	11	14			238	121	8	8	15	426
7月	31	27	10	114	91	16		11	10	252	49	77	585	1		392	125			28	1,257
8月	31	31	4	53	217		1	14	47	336	48	268	172			924	162	7	8	55	1,644
9月	30	26	4	35	130	5	8	6	17	205	24	41	17			407	28	4	34	1	556
10月	31	27	5	68	81		2	78	17	251	2	21			227	299	54	1	36	17	657
11月	30	27	9	99	147			72	117	444	15	31				482	172		31	130	861
12月	31	24	1	11	19			15	16	62	1	4				176	44		1	13	239
1月	31	24	1	14	23			7	4	49		4			11	138			16	30	199
2月	29	24	2	42	33			27	25	129	3	1			6	236	43		10	11	310
3月	31	27	2	15	44				29	90	16	22	35			263	76			11	423
合計	366	315	78	750	1,145	46	19	246	780	3,064	227	585	851	1	400	4,492	878	111	254	362	8,161

		-	ミュー	ージア	'人入:	館者	1)+	- ②				
小									体			
以		子と	ごも			_	般		験		有	無
下									室	合	H	2007
(無料)	個人	団体	半額減免	全額減免	個人	団体	半額減免	全額減免	(無料)	計	料	料
24	90	16	0	0	456	19	16	14	30	665	546	119
66	186	12	0	156	787	59	83	105	90	1,544	1,007	537
19	139	14	0	0	292	121	8	15	444	1,052	446	606
59	191	585	1	0	483	141	0	11	38	1,509	1,287	222
52	321	172	0	0	1,141	162	8	22	102	1,980	1,751	229
28	76	17	0	0	537	33	12	40	18	761	640	121
7	89	0	0	227	380	54	3	114	34	908	458	450
24	130	0	0	0	629	172	0	103	247	1,305	832	473
2	15	0	0	0	195	44	0	16	29	301	243	58
1	18	0	0	11	161	0	0	23	34	248	165	83
5	43	0	0	6	269	43	0	37	36	439	313	126
18	37	35	0	0	307	76	0	0	40	513	440	73
305	1,335	851	1	400	5,637	924	130	500	1,142	11,225	8,128	3,097

第5節 関係条例·規則等

1. 南種子町広田遺跡ミュージアム条例

南種子町広田遺跡ミュージアム条例をここに公布する。 平成26年12月16日

南種子町長

南種子町条例第 27号

南種子町広田遺跡ミュージアム条例

(設置)

第1条 史跡広田遺跡に関する資料を収集し、保管し、展示して教育的配慮のもとに一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、体験学習等に資するために必要な事業を行うため、博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第18条の規定に基づき、南種子町広田遺跡ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 ミュージアムの名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
南種子町広田遺跡ミュージアム	南種子町平山 2571 番地ほか

(管理)

第3条 ミュージアムは、南種子町教育委員会(以下「教育委員会」という。)が管理 する。

(事業)

- 第4条 ミュージアムは、広田遺跡を主とする南種子の歴史文化に関する知識の向上と文 化の発展に寄与するため、資料の収集及び受託並びにこれらの展示及び保管を行う。
- 2 ミュージアムは、前項に規定する事業のほか、次に掲げる事業を行うものとする。
 - (1) ミュージアム資料に関する専門的調査,展示及び保管について,技術的研究を行うこと。
 - (2) ミュージアム資料に関する案内書,解説書,目録,調査研究報告書その他の印刷物の作成及び頒布を行うこと。
 - (3) ミュージアムの普及活動として、講演会、研究会、見学会、講座等を行うこと。
 - (4) 他の博物館,学校、図書館、公民館等の教育、学術又は文化に関する諸施設との協力及びその活動の援助を行うこと。
 - (5) 前各号に掲げるもののほか、その他必要な事業に関すること。

(職員)

第5条 法第4条の規定により、ミュージアムに館長のほか、学芸員その他必要な職員を置く。

(開館時間)

第6条 ミュージアムの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育 委員会は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(休館日)

- 第7条 ミュージアムの休館日は、次のとおりとする。
 - (1) 毎週月曜日。ただし、月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日とする。
 - (2) 12月29日から翌年1月3日までの日
- 2 教育委員会は、前項に規定する休日のほか、ミュージアムの管理上必要があるときは、臨時に休館を定め、又は休館日に開館することができる。

(入館の制限)

- 第8条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、ミュージアムへの 入館を拒否し、又はミュージアムからの退館を命ずることができる。
 - (1) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑となるおそれがある者及びこれらのおそれがある物品又は動物を携帯する者
 - (2) 感染症の疾患を有する者
 - (3) 泥酔している者
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が管理上支障があると認める者

(施設)

- 第9条 ミュージアムの施設は、次に掲げるとおりとする。
 - (1)展示室
 - (2) 学習室

(観覧料及び体験学習料)

- 第10条 展示室の資料を観覧しようとする者及び体験学習を行う者は、別表に定める 観覧料及び体験学習料を納めなければならない。
- 2 前項の観覧料及び体験学習料は、前納とする。ただし、町長が特別な理由があると認めた場合は、この限りではない。

(観覧料の減免)

第 11 条 町長は、特に必要があると認めたときは、観覧料を減免し、又は免除することができる。

(損害の賠償)

第12条 ミュージアムを利用する者(以下「利用者」という。)は、展示施設及び展示資料を損傷し、汚損し、又は滅失したときは、速やかに教育委員会に届け出て、その指示に従い、現状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(遵守事項)

- 第13条 利用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。
 - (1)展示施設及び展示資料を損傷し、又は汚損しないこと。

- (2) ミュージアム内については、静粛にし、他人に迷惑をかけないこと。
- (3)前2号に掲げるもののほか、教育委員会が定める事項

(協議会の設置)

第14条 法第20条の規定に基づき、ミュージアムの適正かつ円滑な運営を図るため、 南種子町広田遺跡ミュージアム協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(組織)

第15条 協議会は、委員5人以内をもって組織する。

(委員の任期)

- 第16条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、 前任者の残任期間とする。
- 2 委員は、再任を妨げない。

(協議会に関し必要な事項)

第17条 前3条に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、教育委員会規則で 定める。

(委任)

第 18 条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。 附 則

この条例は、平成27年3月1日から施行する。

別表(第10条関係)

区分	内 容		町	内	町	外
			個人	団体	個人	団体
観覧料	常設展示の 場合	一般(高校生以上)	200円	150円	300円	250円
		子ども(中学生以下)	無料	無料	150円	100円
	特別企画展示の場合		教育委員会でその都度定める額			
体験学習料	勾玉・貝殻 ア ク セ サ リー・貝輪 づくりほか	初級コース	300 円			
		中級コース	500 円			
		上級コース	1,000 円			
		特設コース	3,000 円			

※団体とは、引率者のある20名以上の団体をいう。

2. 南種子町広田遺跡ミュージアム協議会規則

南種子町広田遺跡ミュージアム協議会規則をここに公布する。 平成27年1月23日

南種子町教育委員会

南種子町教育委員会規則第 2号 南種子町広田遺跡ミュージアム協議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、南種子町広田遺跡ミュージアム条例(平成26年南種子町条例第27号)第15条の規定に基づき、南種子町広田遺跡ミュージアム協議会(以下「協議会」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 協議会は、南種子町広田遺跡ミュージアム(以下「ミュージアム」という。) の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員の任命)

第3条 協議会委員は、学識経験者から教育委員会が任命する。

(会長及び副会長)

- 第4条 協議会に会長及び副会長を置く。
- 2 会長及び副会長は、委員の相互により定める。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

- 第5条 協議会は、会長が招集し、会議の議長となる。
- 2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(事務局)

- 第6条 協議会に事務局を置き、事務を処理する。
- 2 事務局は、ミュージアムの職員をもって充てる。

(補足)

第7条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附則

この規則は、平成27年3月1日から施行する。

3. 南種子町国史跡広田遺跡公園条例

南種子町国史跡広田遺跡公園条例をここに公布する。

平成26年12月16日

南種子町長

南種子町条例第 28号

南種子町国史跡広田遺跡公園条例

(設置)

第1条 文化財保護法(昭和25年法律第214号)第109条第1項の規定に基づき,国の史跡として指定された史跡広田遺跡の保存整備を図り,文化財の公開活用及び文化財変護の啓発に資するとともに,町民の歴史学習及び憩いの場としての利用に供するため,南種子町国史跡広田遺跡公園(以下「遺跡公園」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 遺跡公園の名称及び位置は次のとおりとする。

名称	位置
南種子町国史跡広田遺跡公園	南種子町平山 2563 番地 1 ほか

(管理)

第3条 遺跡公園は、南種子町教育委員会(以下「教育委員会」という。)が管理する。 (行為の禁止)

- 第4条 遺跡公園内において、次に掲げる行為をしてはならない。
 - (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害すること。
 - (2) 施設を損傷し、又は汚損すること。
 - (3) 土地の形質を変更すること。
 - (4) その他禁止することが必要と認められる行為をすること。

(行為の制限)

- 第5条 遺跡公園内において、次に掲げる行為をしようとする者は、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。
 - (1) たき火、花火、野外炊飯又は野営をすること。
 - (2) 竹木の伐採,植物の採取又はこれらの植栽をすること。
 - (3) 貼り紙若しくは貼り札をし、又は広告を表示すること。
 - (4) 指定された場所以外へ車両を乗り入れ、又は駐車すること。
 - (5) 興行、物品販売、募金その他これらに類する行為をすること。
 - (6) 前各号に掲げるもののほか、遺跡公園の利用に支障となる行為をすること。
- 2 教育委員会は、遺跡公園の管理のため必要があると認めるときは、許可の有無にかかわらず、遺跡公園の利用を制限することができる。

(使用許可の取消し等)

第6条 教育委員会は、前条の許可を受けた者がこの条例に違反したときは使用を停止 し、又は使用許可を取り消すことができる。

(賠償責任)

第7条 遺跡公園の施設等を故意又は過失により損傷し、又は滅失した者は、教育委員会の指示するところに従い、その損害を賠償し、又はこれを原状に回復しなければならない。ただし、教育委員会が特別の事情があると認めたときは、この限りでない。

(委任)

第8条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附則

この条例は、平成27年3月1日から施行する。

4. 南種子町国史跡広田遺跡公園条例施行規則

南種子町国史跡広田遺跡公園条例施行規則をここに公布する。 平成27年1月23日

南種子町教育委員会

南種子町教育委員会規則第 3号 南種子町国史跡広田遺跡公園条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、南種子町史跡広田遺跡公園条例 (平成26年条例第28号。以下「条例」という。)の施行について、必要な事項を定めるものとする。

(使用の許可)

- 第2条 条例第5条の規定による遺跡公園(以下「公園」という。)内の使用の許可を得ようとする者は、南種子町史跡広田遺跡公園使用許可申請書(様式第1号)を教育長に提出し、南種子町史跡広田遺跡公園使用許可書(様式第2号)の交付を受けなければならない。
- 2 許可事項の変更をしようとする者は、南種子町史跡広田遺跡公園使用変更許可書(様式第3号)を教育長に提出し、南種子町史跡広田遺跡公園使用変更許可書(様式第4号)の交付を受けなければならない。

(使用許可の取消し)

第3条 教育長は、条例第5条の規定による公園の使用の許可を取り消し、又は使用を制限する場合は、その理由その他必要な事項を記載した書面を使用者に交付するものとする。ただし、緊急の場合は、この限りでない。

(補足)

第4条 この規則に定めるもののほか、公園の管理に関して必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、平成27年3月1日から施行する。

第2章 館の事業

第1節 展示

1. 常設展示

■広田遺跡の発見と発掘

遺跡の概要や発見・調査され、国史跡・重要文化財に指定されるまでの経緯を当時の 写真や新聞記事などを用いて解説している。

■広田遺跡発掘物語

発掘の様子や遺跡の活用をニュース映像,発掘や活用の記録映像や A4 バインダー等を用いて解説している。メディアプレイヤ2,液晶モニタ(20 インチ)2

○発掘でわかったこと

■集団墓地だった広田遺跡・遺跡の全体像

南側墓群の埋葬状況を再現したジオラマや最新の調査成果に基づいた遺跡の全体像を紹介している。問いかけで興味を喚起する解説グラフィックとして A4 サイズのなぞパネルも設置している。

■貝製品といっしょに埋葬

北区1号墓の出土状況を再現するジオラマやなぞパネルを設置している。ジオラマには、実物人骨と模刻貝製品・サンゴ石を使用している。人骨の展示については、検討委員会や地元の人々と何度も意見を交換し決定している。

■お墓の移り変わり

埋葬形態や副葬品の時代ごとの変遷をパネルで解説している。

■副葬品とともに・人骨の特徴

出土状況写真を多数展示し、集団埋葬墓であったこと、豊富で多彩な貝製品が出土していることをパネルで解説している。また、他の地域の古代人骨や現代人との比較グラフィックで抜歯や特徴的な頭骨の形など、広田遺跡の人骨の特徴を解説している。また、北区1号墓の頭骨レプリカを展示している。

■特別な広田人・貝を身に付ける広田人

「双性のシャーマン」と呼ばれる D III - 2号人骨の復元造形や平均的な広田人男性 (D 1 - 5号人骨),女性 (D I - 4 b号人骨),子供 (D I - 4 号人骨) の復元造形を展示している。その他,バインダー,なぞパネルで解説を行っている。身につけている貝製品等は,町生涯学習講座や体験学習等で地元の人々が製作し,記名したものを使用している。

■ファッションリーダー広田人

当時の貝製品の位置づけ、採取から製作までの流通に関する貝の道や関連遺跡の分布などについて映像とパネル、なぞパネルで解説している。

メディアプレイヤ1, タッチモニタ(31.5 インチ) 1, パーソナルアンプ1, スピーカーユニット2

■貝製品のつくり方

貝製品の作り方を原貝から製品に至るまでの過程を実物貝で再現している。展示する

什器は、ガラス板3枚と土台を合わせて4層構造にし、砂地、岩場など、貝を採取する海中環境をイメージできるグラフィックにしている。ハンズ・オン展示は、実際に復元した貝製品を身につけることができ、全身を写すミラーを設置している。また、パネルには平成20年度の普及啓発事業で高校生が行った「広田人ファッションショー」等の写真を使用し、地域住民の取り組みや成果を紹介している。また、体験プログラム案内の展示はガラス張りで、体験学習等で製作した貝のアクセサリーなどを展示するとともに、隣接する体験学習室と連動させている。

■企画展示コーナー

広田遺跡に関連し、より知ることのできるテーマを中心に、自由に企画展示を行えるスペースを設けた。展示ケースのほか、差し替え可能なバインダーでの解説や映像システムを設置している。モニタスタンド(可動式)1、液晶モニタ(52 インチ)1、DVD プレイヤ1

■特別展示室

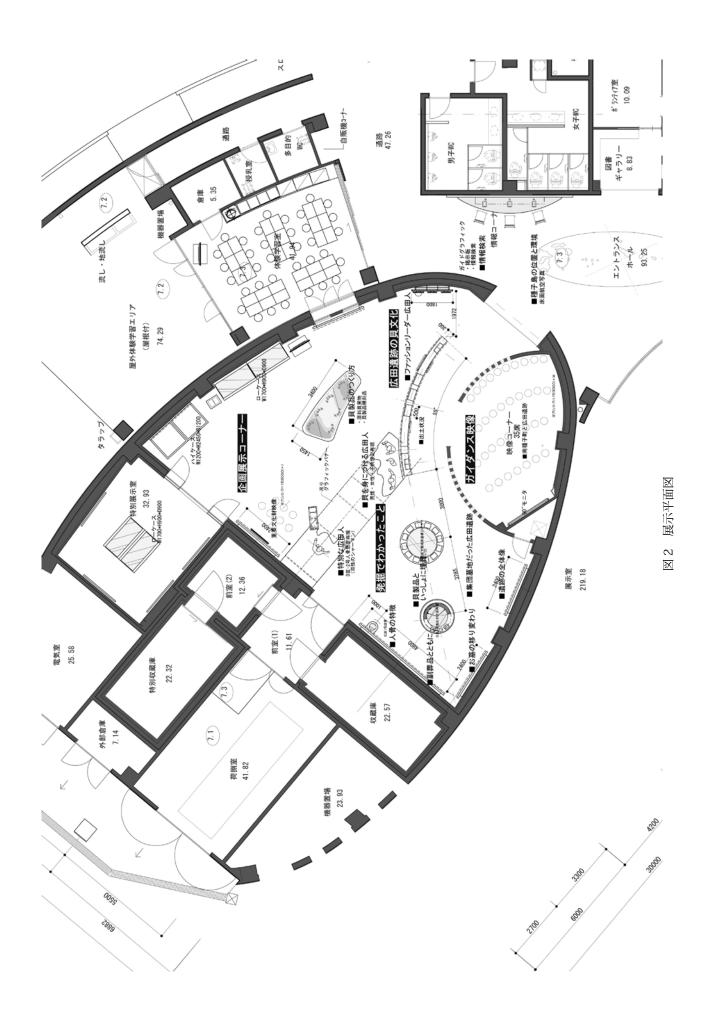
町所有の国重要文化財広田遺跡出土品である貝製品や土器等を展示する。さらにパネルや映像で貝製装身具の種類や特徴、貝の生息区域などを紹介している。

メディアプレイヤ1,液晶モニタ(52 インチ),押しボタンスイッチ1,スイッチI/F1

■地域参加型の展示

広田遺跡の整備ではこれまで地域参加型の普及啓発等を並行して進めてきた。展示においても、広田人の造形に使う貝製品は体験学習等で製作し、ガイダンスやファッションリーダー広田人の映像でも地元の女性が出演している。また、南側墓群の埋葬状況復元ジオラマの人物は地元の人と調査関係者の顔写真を下に制作しており、ハンズ・オンの展示ではこれまでの普及啓発の活動写真をデザインに組み込んでいる。展示においても可能な部分は地域と連携して製作しており、よりこの館への愛着を持ってもらえるよう工夫した。

図1 展示の構成



2. 企画展示・イベント

○広田遺跡ミュージアム開館記念シンポジウム

日時:平成27年2月28日(土) 場所:南種子町福祉センター

講師:禰宜田佳男(文化庁記念物課主任文化財調查官),市原富士夫(文化庁記念物課文化財調查官),高瀬要一(整備委員会会長),木下尚子(熊本大学文学部教授),西隆一郎(鹿児島大学水産学部教授),羽生源志(南種子町文化財保護審

議会会長),東和幸(県文化財課)

参加者数:300名

○開館記念イベント

日時:平成27年3月1日(日) 場所 広田遺跡ミュージアム

内容:記念式典等

○広田遺跡ミュージアム開館記念企画展

「広田の民俗」

期 間:平成27年3月1日~平成27年6月30日

内 容:広田遺跡の立地する広田集落の民俗・民具を展示し、広田遺跡を取り巻く地域の民俗を紹介する。

○ GW 特別イベント

「むかしのこどもの遊び体験」

期 間:平成27年5月2日(土)~5月6日(水)

場 所:体験学習室

体験料:無料

内 容: 竹をつかった昔の遊び(竹とんぼ、竹笛、竹鉄砲等)とむかしの遊び道具(ぶんぶんコマ、水鉄砲、けんだま、おはじき、あやとり、糸電話、笹船、紙飛行機、蘇鉄手裏剣、コマ回しなど)を語り部が教えた。

利用者数:668人

○夏の企画展

「広田の民俗と新指定の逸品展」

期 間:平成27年5月19日(火)~9月30日(水)

内 容:広田の民俗の展示に加えて、平成25~26年度に鹿児島県の文化財に指定 された「銭亀遺跡出土品」「種子島南種子町宝満池鴨突き網猟」を展示公開。

○秋の企画展

「黒潮が育んだ古代文化と宇宙芸術展」

期 間:平成27年10月31日~平成27年11月15日

目 的:第30回国民文化祭かごしま2015の一環として行われたものである。本展では、広田遺跡ミュージアムと宇宙科学技術館を舞台に、黒潮が育んだ種子島、鹿児島県の古代文化と種子島の現代文化に多大な影響を与えているロケットを中心とした、宇宙芸術とをコラボレーションさせた展示会とワークショップを行った。また、企画段階から地域参加型の展示会、ワークショップを目指すことで、地域にすむ一人ひとりが主体的に地域の古代文化を学び、新しい芸術文化(宇宙芸術)にふれる機会を提供するとともに、古代文化と宇宙芸術がコラボレーションすることで、鹿児島県の新たな魅力、観光文化資源の創出を図り、活気と潤いにあふれるふるさと鹿児島の創造に寄与することを目的とし開催した。

内 容:

「黒潮が育んだ古代文化と宇宙芸術展」

- ・アートディレクター:森脇裕之(多摩美術大学准教授)
- ・宇宙人案山子ワークショップ:森脇裕之
- ・アーティストインレジデンス:木村崇人、千田泰広
- ・宇宙人イラストワークショップ 森脇裕之ほか
- 貝殻アートワークショップ
- ・ミニシンポジウム

基調講演:港千尋(多摩美術大学教授)

基調報告・パネリスト

宇宙芸術 :森脇裕之(多摩美術大学准教授)

古代文化 : 佐古和枝(関西外国語大学教授)

芸術による地域おこし:中川幾郎(帝塚山大学名誉教授)

JAXA :大塚成志(元種子島宇宙センター管理課長)

・ワークショップ等参加者 町内全小学校及び町内外一般参加者

- ・会期中は、スタッフによる適切な誘導・案内を、スタッフマニュアルを配布し実施した。
- ・ワークショップ,アーティストインレジデンスの手法をとりいれた結果,参加型のイベントとして事業効果が大変高まり、多くの地元の方々がイベントに参加するとともに、その成果を多くの町外・県外の方々にみていただくことができた。また、宇宙芸術という鹿児島県の新たな観光資源の魅力を県民参加型で高めることが出来た。
- ・展示会にあわせて、ミニシンポジウムを開催することで、事業の目的を一般の人に 広く普及啓発することを実現し、また、会場を宇宙センター内に設定し、JAXA の 役員の方にもパネリストとして参加いただくことで、事業効果を高めることに成功 した。ミニシンポジウム会場は立ち見がでるほどの盛況で、参加者は 100 名を越した。

- ・国重要文化財広田遺跡出土品,沖縄県出土の鹿児島県から伝わった考古資料など, 黒潮が育んだ古代文化の象徴である考古資料の展示を実現した。
- ・公募により、広く一般の人々の参画を実現した。公募作品数は、宇宙芸術公募展が311点、貝殻アート公募展が54点であり、応募者の中からは、こうした芸術文化活動に参加し、触れ、親しむことで日常では得られない感動を得て、創造する楽しみや生きる喜びを得ることができたという意見もあった。また、宇宙人かかしなどは、展示会終了後、各集落の入り口、畑、水田などでかかしとして活躍していて、地域活性化にもつながった。
- ・ポスター・チラシの配布等だけでなく、ラジオやテレビでの告知にも積極的に取り組んだ。スタッフは、会場誘導だけでなく、会場案内も積極的に行い、おもてなしの心で来場者に接するよう努めた。期間中の来場者等は 1040 名をかぞえ、JAXA の遠藤副理事長や文化庁佐伯文化部長をはじめとする方々も観覧された。

利用者数:1040名

○ミニシンポジウム「黒潮が育んだ古代文化と宇宙芸術展」

日 時: 平成27年11月7日(土)13時30分~16時00分

場 所:種子島宇宙センター

テーマ:「古代文化と宇宙芸術」

講 師:

基調講演「古代文化と宇宙芸術」港千尋(多摩美術大学教授)

パネルディスカッション

コーディネーター:港千尋(多摩美術大学教授)

パネリスト:中川幾郎(帝塚山大学名誉教授,文化行政等)

佐古和枝 (関西外国語大学教授,考古学)

大塚成志(JAXA 第一宇宙技術部門事業推進部計画マネージャー)

森脇裕之(多摩美術大学准教授)

○イベント:岩穴焚きプレイベント 広田遺跡語り部の会主催

日時:平成28年1月10日(土)

場所:広田の岩穴

内容:1周年記念岩穴焚きイベントに向けて、地元広田集落の子ども達を対象に岩穴

焚きを語り部の会がプレイベントとして実施。

○広田遺跡ミュージアム 開館1周年記念企画展

「広田の風俗・習慣」展

期間:平成28年3月1日(火)~4月24日(日)

内容:

・平山広田の岩穴焚きと西之田代の岩穴焚き

- ・広田集落の葬送儀礼
- ・広田の民具~吉十めがね~
- ○1周年記念イベント 広田遺跡語り部の会 主催 「広田の岩穴焚き」

期 日:平成28年3月6日(日)13時30分~15時30分

場 所:広田の岩穴(国史跡広田遺跡公園近く)

参加料:無料

○平成28年度 春の企画展

「南種子町の神社・仏閣に伝わる逸品展」

期 間:平成28年4月26日(火)~

場 所:広田遺跡ミュージアム

○ GW 特別イベント

「むかしのこどもの遊び体験」

期 間:平成28年5月3日~5日

場 所:体験学習室

体験料:無料

内 容: 竹をつかった昔の遊び(竹とんぼ, 竹笛, 竹鉄砲等)とむかしの遊び道具(ぶんぶんコマ, 水鉄砲, けんだま, おはじき, あやとり, 糸電話, 笹船, 紙飛行機, 蘇鉄手裏剣, コマ回しなど)を語り部が教えた。

○平成28年度 企画展

「鉄砲伝来と西村織部丞時貫」展

期 間:平成28年7月20日(水)~平成29年3月31日(金)

場 所:広田遺跡ミュージアム

内 容:鉄砲伝来の影の立役者というべき,西村織部丞時貫。本企画展では,彼にま つわる文化遺産群と南種子町の所有する火縄銃等を展示します。

○広田遺跡ミュージアム開館2周年記念イベント 広田遺跡語り部の会主催 「広田の岩穴焚き」

期 日:平成29年3月18日(土)13時30分~16時30分

場 所:広田の岩穴(国史跡広田遺跡公園近く)

第2節 教育・普及啓発

1. 教育・普及啓発活動

(1) 広田遺跡ミュージアム ジュニア学芸員

ジュニア学芸員は、小学校2年生~高校3年生までを対象に、種子島の歴史・ 文化・自然を学んでいただく教育・普及啓発事業である。所定の課程を修了した 受講生には、ジュニア学芸員修了証を発行している。

○ジュニア学芸員の人数

	小学生	中学生	高校生	合計
平成 26 年度	19	5	0	24人
平成 27 年度	21	6	0	27人
平成 28 年度	28	8	1	37人

○内容

平成26年度

- 第1回 平成27年2月1日(日) 開講式、「広田遺跡周辺ガイド」打ち合わせ 講師:石堂和博(広田遺跡ミュージアム学芸員)
- 第2回 平成27年3月1日(日) 広田遺跡ミュージアムオープニングセレモニー 講師:石堂和博(広田遺跡ミュージアム学芸員)

平成27年度

- 第1回 平成27年5月10日(日) むかしのこどもの遊びを体験しよう! 講師:向井良降(広田遺跡語り部の会 会員)
- 第2回 平成27年6月7日(日) 遺跡の語り部になってみよう!(1) 講師:石堂和博(広田遺跡ミュージアム学芸員)
- 第3回 平成27年7月4日(土) 植物採集をしてみよう! 講師:田渕川サナエ(広田遺跡語り部の会 会員)
- 第4回 平成27年8月2日(日) 広田川と広田の海の生き物観察 講師:岩澤昭文(南種子町文化財保護審議委員)
- 第5回 平成27年9月6日(日) たねがしまの化石 講師:石堂和博(広田遺跡ミュージアム学芸員)
- 第6回 平成27年10月17日(土) 古代の貝細工をつくろう! 講師:梅北公子(NPO法人かごしま子どもと自然研究所理事)
- 第7回 平成27年11月15日(日) 星空をつくろう 講師:千田泰広(アーティスト)
- 第8回 平成27年12月6日(日) ジュニア語り部になろう! 講師:羽生源志(広田遺跡ミュージアム館長)
- 第9回 平成28年2月6日(土) 海の不思議・貝の不思議 講師:出羽尚子(かごしま水族館学芸員)

第10回 平成28年3月6日(土) 修了式,広田の岩穴焚き体験 講師:羽生源志(広田遺跡ミュージアム館長),長田隆幸,向井良隆(広 田遺跡語り部の会会員)

平成 28 年度

- 第1回 6月12日(日)13時30分~15時30分「開校式,むかしのこども の遊びを体験しよう!」講師:向井良隆(広田遺跡語り部の会会員)
- 第2回 7月3日(日)13時30分~15時30分「海の生き物を調べよう!」 講師:岩澤昭文,田中清明
- 第3回 8月6日(土)13時30分~15時30分「宇宙芸術を体験しよう!~ 星空スコープ~」

講師:森脇裕之(多摩美術大学准教授)

- 第4回 9月25日(日)13時30分~16時00分「赤米シンポジウム」 講師:下野敏見他
- 第5回 11月13日(日)13時30分~15時30分「縄文の文様をつくってみよう!」

講師:鶴田靜彦(古代塾塾長)

- 第6回 12月4日(日)13時30分~15時30分「広田の植物を調べよう!」 講師:鶴田靜彦(古代塾塾長)
- 第7回 2月5日(日)13時30分~15時30分「広田の植物を調べよう!」 講師:田渕川サナエ(広田遺跡語り部の会会員)
- 第8回 3月18日(日)13時30分~15時30分「広田の民俗文化を体験しよう! 閉校式」

講師:鶴田靜彦(古代塾塾長),広田遺跡語り部の会会員

(2) たねがしま古代塾

たねがしま古代塾は、地域の歴史を学び、文化財等の大切さを知ることを目的として、塾長に鶴田静彦氏(西野小学校校長、前鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター調査課長)を迎え、平成26年度から開講し、以下の活動を行ってきた。この講座の受講生の中から、広田遺跡語り部の会に加入した方もいて、着実に成果をあげている。

平成 26 年度

- 第1回 「黒潮と季節風からみた種子島の魅力」講師:塾長 鶴田靜彦
- 第2回 「種子島の植物」 場所:広田遺跡
- 第3回 「種子島の水辺の生き物」 場所:広田遺跡
- 第4回 「古代アクセサリー講座」 場所:町中央公民館
- 第5回 「島内史跡等巡りマイクロバスツアー」
- 第6回 「たねがしまの民俗」

- 第7回 「広田遺跡の謎に迫る!」
- 第8回 「古代と天体観察」
- 第9回 「種子島を語ろう!」講師:塾長 鶴田靜彦

平成 27 年度

- 第1回 『たねがしまを知ろう』 講師 鶴田靜彦 6月8日(月)夜19時~20時30分 場所:広田遺跡ミュージアム 体験学習室
- 第2回 『たねがしまの自然』 講師 田渕川サナエ 7月5日(日)13時~15時 場所:広田遺跡ミュージアム
- 第3回 『たねがしまの海の生き物』 講師 岩澤昭文 8月2日(日)13時~15時 場所:広田遺跡ミュージアム
- 第4回 『たねがしまの化石』 講師 石堂和博 9月12日(日)13時~15時 場所:広田遺跡ミュージアム
- 第5回 シンポジウム「黒潮が育んだ古代文化と宇宙芸術」講師港千尋他(多 摩美術大学教授)

11月7日13時~15時

場所:種子島宇宙センター宇宙科学技術館ホール

- 第6回 『星空をつくろう』 講師 千田泰広 (宇宙芸術アーティスト) 11月15日(日)13時~15時 場所:広田遺跡ミュージアム
- 第7回 『たねがしまの民謡,広田のガロー,岩穴焚き等』 講師 名誉館長 下野敏見 12月17日(木) 13時15分~15時30分 場所:広田遺跡ミュージアム
- 第8回 『種子島原始古代の文様』 講師 鶴田静彦 閉講式 2月 10日(火) 19時~20時30分 場所:広田遺跡ミュージアム

平成 28 年度

- 第1回 開校式,座学『たねがしまを知ろう』 講師 鶴田靜彦 6月18日(土)10時~11時30分 場所:町中央公民館第1会議室
- 第2回 たねがしまの海の生き物 講師 岩澤昭文,田中清明 7月 3日(日)13時30分~15時30分 場所:たねがしま赤米館
- 第3回 『宇宙芸術を体験しよう!』

講師 森脇裕之(多摩美術大学准教授)

8月 6日(土) 13時30分~15時30分

場所:広田遺跡ミュージアム

第4回 『古代の種子島体験』 講師 鶴田靜彦 ※台風のため中止

9月 4日(日)13時30分~15時30分

場所:広田遺跡ミュージアム

第5回 『赤米シンポジウム』講師 下野敏見他

9月25日(日)13時30分~ 場所: 茎南小学校

第6回 南種子町の歴史・文化遺産をたずねてみよう!

講師 鶴田靜彦

11月 5日(土)9時00分~12時00分 町内一周現地見学

第7回 『たねがしまの星空を眺めよう』 講師 石堂和博

※雨天のため中止

12月7日(水) 19時~20時30分 場所:広田遺跡ミュージアム

第8回 『たねがしまの民俗』

講師 小島摩文(鹿児島純心女子大学教授)

2月17日(金)19時~20時30分

場所:町中央公民館第1会議室

第9回 『広田の岩穴焚き』 講師 広田遺跡語り部の会

3月18日(土) 13時30分~15時30分

場所:広田遺跡ミュージアム

(3) 広田遺跡ミュージアム 講座

平成 27 年度

○特別講座「種子島の民謡,広田のガロー,広田の岩穴焚き等について」

日時: 12月17日(木)13時15分~15時30分

講師:広田遺跡ミュージアム名誉館長 下野敏見

平成 28 年度

○特別講座「種子島の民俗」

講座終了後、語り部に対する案内等指導実施

日時: 12月17日(木)9時30分~11時30分

講師:広田遺跡ミュージアム名誉館長 下野敏見

○「広田遺跡の謎解き」

講師 木下尚子(熊本大学教授)

日時: 平成 28 年 7 月 22 日 19 時~ 20 時 30 分

場所:町中央公民館第一会議室

(4) 出前講座

- ・町内小・中学校及び種子島中央高校への出前講座実施
- ・高齢者学級を対象とした出前講座実施

2. 博物館実習

○平成27年度:受け入れ数:0名

○平成28年度:受け入れ数:1名

期 間:平成28年9月6日~9月15日

実習者:林俊介(長崎国際大学 人間社会学部 国際観光学科 4年)

3. 研修等

○職員研修

平成 27 年度

名称・主催:「埋蔵文化財担当職員等研修会」県教育庁文化財課

日時・場所:平成28年2月3日~5日

研修者:石堂和博(学芸員)

平成 28 年度

名称・主催:「文化財保護行政担当職員研修会」県教育庁文化財課

日時·場所:平成28年5月13日 研修者:小脇有希乃(学芸員)

名称・主催:「第10回指定文化財(美術工芸品)企画展示セミナー」文化庁

日時・場所:平成28年10月24日~28日,京都国立博物館

研修者:小脇有希乃(学芸員)

名称・主催:「おもてなし研修」 種子島観光協会

日時・場所:平成29年2月16日 中種子町中央公民館

研修者:職員2名

○就業体験学習の受け入れ

期 間:平成28年7月6日(水)~7月8日(金)

研修者: 鹿児島県立種子島中央高等学校 二年生 1名

目 的:(1)望ましい職業観や勤労観を養い,進路意識を高める。

(2) 様々な世代とのコミュニケーションを通して、あいさつ等の基本的マナーを学習するとともに、実社会に対応できる能力を身につける。

○パワーアップ研修(地域貢献体験研修,10年経験者研修)の受け入れ

目 的:地域において,行事等に伴う諸準備や運営,意見交換,ディスカッション などの体験活動を実施することにより,郷土のよさを理解するとともに, 学校教育以外の社会にも広げ,教員の資質向上を図る。

· 平成 27 年度

期 間:8月25日(火)~8月27日(木)

研修者: 鹿児島県立種子島中央高校 地歴公民科 教諭 原田正和, 町田友和

• 平成 28 年度

期 間:10月19日(水)~21日(金) 研修者:南種子中学校教諭 佐藤亮





下野敏見名誉館長による特別講座

第3節 調査・研究

平成 27 年度

5月16日 「第6回 奄美考古学会(種子島大会)」を広田遺跡ミュージアムで開催 研究発表:石堂和博「古墳時代後期並行期~奈良時代における九州本土と大 隅諸島における交流」、小脇有希乃「広田遺跡の整備と活用」

1月2日~5日「喜界町民俗調査」

1月22日 九州国立博物館進村学芸員 資料調査対応

平成 28 年度

6月2日 沖縄県立博物館・美術館山崎学芸員 資料調査対応

8月29日 「WAC8 paper presentation (世界考古学会議 プレゼンテーション)」

セッション名: WAC-8 Session T08V - Practicing Heritage

タイトル: The Case Study of Public Archaeology and Public Archaeology

Events and Activities at the Hirota Site

発表者:石堂和博

場所: Kyoto, Doshisha University

8月28日~9月3日 「WAC8 poster session (世界考古学会議 ポスターセッション)」

カテゴリー名: Japanese archaeology now

タイトル : Hirota Site

作成者 : Minamitane Town Board of education

場 所 : Kyoto, Doshisha University

12月17日 平成28年度 沖縄県立博物館・美術館 博物館特別展

港川人の時代とその後 琉球弧をめぐる人類史の起源と展開

関連シンポジウム「琉球弧と九州をめぐる人類史の起源と展開」

日時:平成28年12月17日(土)13時30分~

場所:沖縄県立博物館·美術館

発表・パネリスト:石堂和博「種子島の先史文化とその特質」

1月21日 「小湊フワガネク遺跡シンポジウム」

期日:平成29年1月21日(土)10:00~16:30

場所:奄美看護福祉専門学校サングリーンホール, 主催 奄美市教育委員会

発表・パネリスト:石堂和博「史跡広田遺跡の貝文化と整備活用」

第4節 管理•運営

1. 広田遺跡語り部の会

広田遺跡語り部の会は、広田遺跡の発掘に実際に参加したり、発掘に参加した方の子孫であったり、たねがしま古代塾に参加し、島の歴史に興味をもった方など、10名で結成した広田遺跡のサポーターである。館がオープンする前の、平成26年12月に結成され、それから3ヶ月間活動をした後、平成27年3月に館がオープンすると、広田遺跡語り部として館活動に参画した。

広田遺跡ミュージアムでは、1日1名(団体予約等の時は必要に応じて増),広田遺跡語り部として、語り部を雇用している。広田遺跡語り部の業務は、広田遺跡ミュージアム及び広田遺跡公園の語り部(案内)、清掃管理、体験学習補助業務などである。語り部の方々は、直接、利用者をご案内するので、利用者の立場にたった館サービスの向上を館に提案する。その提案は有益なものであることが多く、提案はすぐ実践される場合が多い。

○広田遺跡語り部の会 会員 名簿

役職 氏名

会長 原南海雄

副会長 平畠強

監事 長田睦郎, 峯山弘子

会員 向井良隆

長田隆幸

長田君應

佐伯圭子

田渕川サナエ

○活動内容

広田遺跡語り部の会では、月1回ボランティアで広田遺跡ミュージアム・史跡広田遺跡公園の大規模な清掃を行っている。また、種子島の遺跡巡り、南種子町の文化財巡りなどのほか、下野敏見名誉館長による語り部研修なども行い、会員の資質向上に努めている。そのほか、語り部の会の自主イベントとして、広田遺跡ミュージアムの開館1周年を記念して20年ぶりに「岩穴焚き」を復活させた。さらに、毎年ゴールデンウィークに行っている「昔のこどものあそび」体験に使う昔の遊び道具を製作している。また、館のおもてなしの向上のため、史跡公園入口に竹製の杖を用意するなど、語り部として案内する際に気がついたことを実践し、館運営にも積極的に協力している。運営にあたっては、会員より会費を徴収するほか、広田遺跡ミュージアムショップを運営し、ボランティア活動の資金としている。

広田遺跡語り部の会 これまでの活動内容

平成 26 年度 12月4日(木) 13:30~16:00 語り部の会(仮称)準備会 12月11日(木)15:00~17:00 広田遺跡語り部の会 発足,規約承認 広田遺跡の学習会 講師 鶴田静彦先生 12月21日(日)13:30~15:00 15:00~17:00 語り部の会 話し合い 1月11日(日) 13:30~15:00 広田遺跡周辺の植物の学習会 講師田淵川サナエ 15:00~17:00 語り部の会 話し合い 1月23日(金) 18:30~19:30 語り部の会 話し合い 広田遺跡ミュージアム館内の語り部練習, 実践 講師:南種子町教育委員会学芸員石堂和博 19:30~21:00 宇宙と広田遺跡の学習会 講師 崎田善昭先生 2月7日(日) 13:00~16:00 広田遺跡ミュージアム館内の語り部練習,実践2 講師:南種子町教育委員会学芸員石堂和博 2月15日(日) 13:00~16:00 広田遺跡公園の語り部 練習,実践 講師:南種子町教育委員会学芸員石堂和博 2月17日(火) 10:00~12:00 語り部実践 対象 長谷老人クラブ 2月19日(木) 10:00~12:00 語り部実践 対象 上中老人クラブ 2月22日(日) 10:00~12:00, 13:00~15:00 広田遺跡ミュージアム, 広田遺跡公園の語り部の 対象者:広田集落公民館員,平山小学校 P T A 語り部の会練習,館内清掃等 2月25日(水) 8:30~16:00 16:00~17:00 語り部の会話し合い 2月28日(金) 13:00~17:00 遺跡公園の清掃ボランティア実施

広田遺跡ミュージアムオープンに伴う語り部活動

(館内. 遺跡公園案内等)

平成 27 年度

3月1日(日) 8:30~17:00

4月6日(月) 定例ボランティア清掃 館周辺の除草, 遺跡公園のサンゴ運搬,遊歩道整備等

4月27日(月) 定例ボランティア清掃 館周辺の除草, 遺跡公園のサンゴ運搬,遊歩道整備等

6月1日(月) 定例ボランティア清掃 館周辺の除草, 遺跡公園のサンゴ運搬, 遊歩道整備等

7月6日(月) 定例ボランティア清掃 館周辺の除草, 遺跡公園のサンゴ運搬,遊歩道整備等

7月28日(火) 大分少年の翼 団体対応 600名を案内

8月10日(月) 定例ボランティア清掃

- 9月7日(月) 定例ボランティア清掃
- 9月28日(月) 9:00~15:15 種子島遺跡めぐりツアー(島内遺跡めぐり) 研修会
- 9月28日(月) 18:00~ 語り部の会総会・懇親会, 開館半年の反省会
- 10月5日(月) 定例ボランティア清掃 国民文化祭作品設置場所の草払い, 除草剤散布
- 11月16日(月) 定例ボランティア清掃 国民文化祭展示品関係撤去作業
- 11月16日(月)語り部の会 国民文化祭反省会,国民文化祭終了にあたっての反省会
- 12月17日(木) 学習会・研修会 講師:名誉館長下野敏見先生
- 12月18日(月) 語り部の会忘年会 in 島間
- 12月28日(月) 定例ボランティア清掃, 年末大掃除, 館内清掃, 館外草払い等 12月~ 岩穴焚き準備
- 1月10日(日) 定例活動「岩穴焚き」広田集落子供会参加,羽生館長による岩穴焚 きの講義
- 2月1日(月) 定例ボランティア清掃
- 2月28日(日) 生涯学習発表会での成果発表,副会長平畠強氏
- 2月29日(月) 定例ボランティア清掃 広田海岸の井戸捜索,岩穴焚き準備
- 3月5日(土) 岩穴焚き準備
- 3月6日(日) 広田遺跡ミュージアム開館1周年記念イベント,語り部の会主催「広田の岩穴焚き」。約40名参加,ロッポウ,草切節も披露。長田隆幸氏による岩穴焚き,広田の民俗紹介。
- 3月17日 語り部の会総会

平成 28 年度

- 4月4日(月) 定例ボランティア清掃活動
- 4月12日(火) 語り部の会雇用説明会,年間活動計画話し合い
- 4月25日(月) 定例ボランティア清掃, GW 体験学習講座準備
- 5月16日(月) 南種子町文化財巡り
- 6月6日(月) 定例ボランティア清掃活動, 歓送迎会
- 7月11日(月) 定例ボランティア清掃活動
- 8月1日(月) 定例ボランティア清掃活動
- 9月5日(月) 定例ボランティア清掃活動
- 10月3日(月) 定例ボランティア清掃活動
- 11月7日(月) 定例ボランティア清掃活動
- 12月7日(水) 南種子町文化財巡り
- 12月7日(水) 忘年会
- 12月26日(月) 定例ボランティア清掃活動
- 1月16日(月) 定例ボランティア清掃活動

- 2月6日(月) 定例ボランティア清掃活動
- 3月18日(日) 岩穴焚き
- 3月18日(土) 語り部の会総会

○広田遺跡 語り部の会規約

(名 称)

第1条 本会は、広田遺跡 語り部の会と称する。

(事務局)

第2条 本会は、事務局を広田遺跡ミュージアム内におく。

(目的)

- 第3条 本会の目的は、次のとおりとする。
 - (1) 史跡広田遺跡の保存と活用に支援・協力すること。
 - (2) 博物館を広く活用し博物館活動を支援・協力するとともに、会員相互の交流を図ること。
 - (3) 会員の教養を深め、地域社会の文化発展に貢献すること。

(事業)

- 第4条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行なう。
 - (1) 史跡広田遺跡の学術的意義を啓蒙すること。
 - (2) 各種研修会等を開催すること。
 - (3) その他、本会の目的達成に必要な事業に関すること。

(会 員)

第5条 本会は、第3条・第4条の目的に賛同する個人をもって組織する。

(入 会)

第6条 本会に入会しようとするものは、入会申込書に当該年度の会費を添えて申し込む。

(除 名)

第7条 会長は、この会則に違反し、または名誉を著しく傷つけ、若しくは品位を損ね たものは、これを役員会に諮って除名することができる。

(役員)

第8条 本会に、次の役員をおく。

会長 1名 副会長 1名 監事 2名 事務局長 1名

(役員の任務)

- 第9条 役員の任務は、次のとおりとする
 - (1) 会長は、本会を代表して会務を総括し、総会および役員会を招集する。又、議 長となり議事の進行をはかる。
 - (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があったときはその職務を代行する。
 - (3) 監事は、本会の会計および事業の監査をする。
 - (4) 事務局長は、事務局員を把握して会務の推進に努める。

(役員の任期)

- 第10条 役員の任期は2年とする。但し再任を妨げない。
 - 2 補欠により選出された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員の選出)

- 第11条 役員の選出は、次のとおりとする。
 - (1) 会長・副会長・事務局長・監事は、総会において選出する。但し急を要する場合は、 役員会において選出することができる。

(顧問)

- 第12条 本会は、顧問をおくことができる。
- 2 顧問は、役員会の承認を得て会長が委嘱する。
- 3 在職中の当該博物館長については、顧問に会長が委嘱する。
- 4 顧問の任期は、特に定めない。

(名誉会長)

(会議)

- 第14条 本会の会議は、総会および役員会とする
- 2 総会は、会員の過半数が出席した場合に成立する。但し会員から委任状が提出されたときは出席者と見なす。
- 3 役員会は過半数の役員が出席した場合に成立する。
- 4 議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは会長が決するものとする。 ただし、他に別段の定めがある場合は、その定めによるものとする。

(総 会)

- 第15条 本会は、年1回以上の総会を開催する。
- 2 総会で議決を要する事項は次のとおりとする。
 - (1) 事業および決算・予算の承認。
 - (2) 会則の改正。
 - (3) その他,特に重要な案件。

(経費)

第16条 本会の経費は・会費・補助金・事業収益金, その他の収入をもって充てる。 (会計年度)

第17条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会費)

第18条 本会の会費は年会費とし、次の区分によって納入する。

- (1) 個人 1.000 円
- (2) 当該年度10月1日以降の加入者 500円
- (3) 年会費を2年継続して未納の場合は退会とみなす。

(事務局員)

- 第19条 本会は事務局に次のように事務局員をおく。
 - (1) 事務局員は、若干名とする。
 - (2) 事務局員は、事務局長の指示によって会務を処理する。
 - (3) 事務局員の任期は特に定めない。

(委任)

第20条 本会は、事業ならびに事務処理を迅速且つ適正に執行するため、会則に定める以外の事項については、別に役員会もしくは会長において定めることができる。 付則1 この会則は、平成26年12月4日から施行する。

2. 視察等

○鹿児島県議会 文教警察委員会行政視察

日時:平成27年5月27日14時20分~15時30分

視察者数:20名

○文化庁佐伯文化部長視察

日時:平成27年11月1日

○ JAXA 遠藤副理事長視察

日時:平成27年11月7日

○鹿児島県議会 総務委員会行政視察

日時:平成27年11月12日(木)11時~12時

人数:14名

○鹿児島県教育委員会教育長行政視察

日時: 平成 28 年 5 月 13 日

○愛知県町村会行政視察

日時:平成28年11月1日

○全国離島振興協議会行政視察

日時:平成28年11月5日

○飛島村村長行政視察

日時: 平成 28 年 12 月 24 日

○小松市埋蔵文化財センター視察

日時: 平成 29 年 1 月 31 日 15 時 30 分~ 17 時

人数:5名

○飛島村議会議員・教育委員等行政視察

日時:平成29年2月1日

3. その他

防災

- (1) 消防計画の策定 :防火管理者 庶務係長 濱田伸一(H27), 才川いずみ(H28)
- (2) 自衛消防訓練の実施

平成 26 年度

日時:平成27年2月26日13時30分~14時00分

目的:1月26日が文化財防火デー(文化財を災害から守るため,この日を中心として全国的に文化財防火運動を展開し,国民一般の文化財愛護思想の高揚を図る)となっており、それに伴い、町内の貴重な資料及び国の重要文化財広田遺跡出土品を収蔵する広田遺跡ミュージアムにおいて,関係職員等が防災訓練を行う。

内容:参加人員 6名

広田遺跡ミュージアムで火事が起きたと想定し 119 番通報の模擬。 消火訓練及びに避難訓練。熊毛地区消防組合南種子分遣所による防災指導

平成 27 年度

○第1回自衛消防訓練

日時:平成27年6月4日15時00分~16時00分

内容:策定した消防計画に従って自衛消防訓練を行った。参加人員 7名 広田遺跡ミュージアムで火事が起きたと想定し 119 番通報の模擬。 消火訓練及びに避難訓練。

○第2回自衛消防訓練

日時: 平成 28 年 1 月 20 日 13 時 30 分~ 15 時 00 分

目的:1月26日が文化財防火デー(文化財を災害から守るため,この日を中心として全国的に文化財防火運動を展開し,国民一般の文化財愛護思想の高揚を図る)となっており、それに伴い、町内の貴重な資料及び国の重要文化財「広田遺跡出土品」を収蔵する「広田遺跡ミュージアム」において、関係職員等が防災訓練を行う。

内容:参加人員 8名

広田遺跡ミュージアムで火事が起きたと想定し 119 番通報の模擬。 消火訓練及びに避難訓練。南種子分遣所職員による指導,放水訓練,消火器訓練

広報

新聞・雑誌等

- ○「古代文化」2015 年第 67 号 「NEWS 古代史交差点」で広田遺跡ミュージアムの 紹介記事
- ○「朝日新聞」2015年4月1日朝刊「知って広田遺跡の魅力」
- ○「朝日新聞」2015 年 5 月 21, 5 月 28 日, 6 月 4 日, 6 月 11 日朝刊「この一品」 で企画展出展品を 4 回にわたり紹介

- ○「南日本新聞」2015 年 6 月 24 日朝刊 14 面「宇宙人かかしを作ろう」 企画展のワークショップを紹介
- ○「読売新聞(全国版)」2015 年 12 月 21 日朝刊「考景 2015 種子島 現代と古 代がせめぎ合う場所」港千尋先生のコラムで広田遺跡ミュージアムを紹介
- ○「南日本新聞 | 2016 年 1 月 14 日朝刊「20 年ぶり岩穴焚き」
- ○「南日本新聞」2016 年 4 月 26 日朝刊 16 面「ヤコウガイ輝き七色」 広田遺跡ミュージアムの体験学習を紹介
- ○「地球の歩き方 JAPAN 島シリーズ種子島」で紹介

テレビ等

○「ズバっと鹿児島」「MBC ふるさと鹿児島」「NHK ニューズナウ」等で紹介

その他

○鹿児島県博物館協会:平成27年度より加盟

第5節 資料の収集・保管

1. 重要文化財

鹿児島県広田遺跡出土品(平成20年指定) 所有者 南種子町

○南種子町

1, 貝製品	215点
1, ガラス玉	28点
1, 石鏃	10点
1, 土器	4点
附 土器残欠	34 点
(貝製品内訳)	
貝輪	25 点
貝符	25 点
竜佩形貝製垂飾	5 点
有孔円盤状貝製品	2点
二孔板状貝製品	9点
マクラガイ玉	70 点
太形ツノガイ玉	22 点
細形ツノガイ玉	13連
イモガイ玉	27 連
ノシガイ玉	12点
貝匙	3点
貝鏃	2点



参考: <指定理由>

弥生時代終末から古墳時代にかけて、河口の砂丘上に築かれた集団墓地からの副葬 品の一括。南海産の貝を素材とし、精緻な彫刻文で飾られた貝符や、豊富な貝輪、貝匙、 貝垂飾など, 多彩な貝製品に, ガラス玉, 石鏃などで構成される。本例のように多量 の貝製品を墳墓に副葬する文化は、わが国においては他に例がない。日本列島の当該 期の文化と、種子島を含む南島文化との比較研究に資するうえで、極めて貴重な資料 である。

2. 重要文化財の保存処理

○出土品保存処理

当町の保管する重要文化財広田遺跡出土品の大部分は貝製品で、土器や石器を含む。貝製品は経年劣化しやすく、現時点でも劣化の著しい資料がある。そのため、薬品等による保存処理を行い、木製保管箱を作成し、資料の適切な収蔵管理を図ることを目的に、平成26年度に出土品の保存処理を実施した。

事業名 広田遺跡出土品保存修理事業

(国宝重要文化財等保存整備費補助金:美術工芸品保存修理事業)

事業の内容

- (1)保存処理対象出土品
 - ・ 貝製品 215 点
 - ・ガラス玉 28点
 - · 土器残欠 33 点
- (2)修理期間 平成26年6月2日~平成27年2月3日
- (3) 保存処理の方針

一部、過去に保存処理が行われており、クリーニングし、劣化資料は樹脂 強化処理を行った。土器残欠については、旧接合部分や石膏による復元部分 を除去し、新たにエポシキ樹脂による再接合と復元を行った。

(4)保存処理の方法

①クリーニング

表面の埃や汚れを筆や竹串、綿棒等で除去した。旧保存処理の樹脂材が黄変した部分は、有機溶剤(アセトン)を用いてできる限り除去した。ただし、 貝匙破片類のような破損・紛失の恐れがあるものは取り扱わなかった。

②解体

土器残欠は旧保存処理の接合部分を溶剤(アセトン)や竹串・デザインカッター等を使用して解体した。

③樹脂強化

亀裂やササクレ、土器残欠の破断面等の脆弱な資料は、パラロイド B72(溶剤アセトン:5%程度)を塗布し、補強処理を行った。その際、質感の変化を最小限にとどめた。

④接合・樹脂充填

マクラガイ玉のような破損資料は破片の接合を行った。接着剤は濃い目のパラロイド B72 (溶剤アセトン 30%程度)を使用した。大きな亀裂やササクレ等については、パラロイド B72 (溶剤アセトン:5%程度)に充填材(マイクロバルーン:微粒子の樹脂で白色)を混ぜた樹脂で樹脂充填を行った。

土器は破片をエポシキ樹脂系化学反応接着剤(ハイスーパー5)を使用して接合した。接合後大きな隙間をエポシキ樹脂(アラルダイト XNR, XNH6504),パラロイド B72(溶剤アセトン),マイクロバルーン及び顔料(個

体の基本色)を混合した樹脂を用いて充填形成を行った。

⑤紐変え

細型ツノガイ玉, イモガイ玉は保存処理前の紐が太く出土品に不要なテンションが掛かっていたため, 細いテグスに紐変えを行った。細型ツノガイ玉は 1.5号 (標準直径 0.205mm), イモガイ玉, ガラス玉は 3号 (標準直径 0.285mm)を使用した。玉止めには透明ビーズ(経 4mm)を使用した。紛失の可能性のある少量の出土品については, 収納用のプラスチックケースを用いた。

⑥補彩色

土器残欠は、樹脂重充填部にアクリル顔料を使用して、実物と同様の彩色 を施した。

(5) 保管箱の作製

出土品保管のため、桐製の保管箱を作製した。各資料をトレースし、出土品の大きさを採寸し保管するための原図を作製した。原図をもとに文化庁の指導のもと台板のレイアウトを決定し、桐製台板の加工を行った。加工の際には、文化庁指導のもと安定性や出土品への負荷がないか等を確認し、修正を行った。

台板は引出形状の保管箱(内箱)に収め、その内箱を10段収める外箱3台を作製した。材料の桐は中国桐(中国国内であく抜きし、材として加工された桐材)を使用した。

○各箱の寸法

- ・台板 370m× 570m。厚さ 15m。出土品の厚みに合わせ複数枚の板を切抜き積層した。出土品個々のキャプションラベルを貼付した。各箱に 10 枚,合計 30 枚製作した。
- 内箱 380m×580m。箱の厚みは最厚資料に合わせ67mとした。外箱に10段収納。
- 外箱 幅 440mm×奥行 645mm×高さ 770mm。15mm厚の桐材で3台製作した。
 蓋は倹飩式とした。





3. 資料の貸し出し

貸出資料名	貸出期間	貸出先	展示会•掲載紙等
広田遺跡の全景写真 1点	平成 27 年 4 月 20 日	宝島社	別冊宝島 素晴らし い日本文化の起源 岡村道雄が案内する 縄文の世界
北区 2 号墓伴出土器 写 真 (1), (2) 計 2 点	平成 27 年 8 月 20 日	鹿児島大学総合研究 博物館	成川式土器に関する 企画展に使用するた め
オオツタノハ製貝輪 写真1点	平成 28 年 6 月 20 日	熊本大学埋蔵文化財 センター	一般書に掲載予定
広田遺跡発掘調査風 景,出土品写真各1 点	平成 28 年 4 月 1 日	種子島開発総合センター	種子島開発総合セン ターのビデオ映像を リニューアルするた め
広田遺跡の全景写真 1点	平成 28 年 4 月 20 日	株式会社はる制作所	「平成版おとなの歴史 謎多き古代史を旅す る」に掲載
広田遺跡ハンズオン 展示品 一式	平成28年10月23日~平成29年2月 11日	沖縄県立美術館・博 物館	特別展「湊川人の時 代とその後」

4. 重要文化財の管理

広田遺跡は、H- II A 及び H- II B ロケットの警戒区域に設定されているため、文化庁美術学芸課の指導により、ロケットの打ち上げの際に重要文化財を南種子町立埋蔵文化財センターに搬出することとなっている。なお、ロケットの打ち上げが概ね、3ヶ月おきに年4回程度であるため、ロケットの打ち上げのタイミングで重要文化財の展示替えとしている。

平成 27 年 2 月 25 日 (水)	開館準備に伴う重要文化財搬入	対応:石堂・小脇
平成 27 年 3 月 25 日 (水)	ロケット打ち上げに伴う搬出	対応:石堂・小脇
平成 27 年 3 月 26 日 (木)	ロケット打ち上げ終了に伴う搬入	対応:石堂・濱田
平成 27 年 8 月 19 日 (水)	ロケット打ち上げに伴う搬出	対応:石堂・小脇
平成 27 年 8 月 20 日 (木)	ロケット打ち上げ終了に伴う搬入	対応:石堂・小脇
平成 27 年 11 月 23 日 (月)	ロケット打ち上げに伴う搬出	対応:石堂・小脇
平成27年11月25日(水)	ロケット打ち上げ終了に伴う搬入	対応:石堂・小脇
平成28年2月11日(木)	ロケット打ち上げに伴う搬出	対応:石堂・小脇
平成28年2月17日(木)	ロケット打ち上げ終了に伴う搬入	対応:石堂・小脇
平成28年11月2日(水)	ロケット打ち上げに伴う搬出	対応:石堂・小脇
平成28年11月3日(木)	ロケット打ち上げ終了に伴う搬入	対応:石堂・小脇
平成28年12月8日(木)	ロケット打ち上げに伴う搬出	対応:石堂・小脇
平成 28 年 12 月 9 日 (金)	ロケット打ち上げ終了に伴う搬入	対応:石堂・小脇
平成29年1月23日(水)	ロケット打ち上げに伴う搬出	対応:石堂・才川
平成 29 年 1 月 24 日 (木)	ロケット打ち上げ終了に伴う搬入	対応:石堂・才川
平成29年3月16日(木)	ロケット打ち上げに伴う搬出	対応:石堂・牛野
平成 29 年 3 月 17 日 (金)	ロケット打ち上げ終了に伴う搬入	対応:石堂・才川

5. 収蔵資料台帳

考古資料 重要文化財 291 点 一般 715 点 合計 1,006 点

収蔵箱番号	分類	小分類	内 容	備考
重要文化財保 管箱 1	考古資料	貝製品	貝輪No1~5,13~16	国重要文化財
重要文化財保 管箱 2	考古資料	貝製品	貝輪No6~12	国重要文化財
重要文化財保 管箱 3	考古資料	貝製品	貝輪No17~25	国重要文化財
重要文化財保 管箱 4	考古資料	貝製品	貝符No1~12	国重要文化財
重要文化財保 管箱 5	考古資料	貝製品	貝符No13~25	国重要文化財
重要文化財保 管箱 6	考古資料	貝製品	マクラガイ玉No1~30, 竜ハイNo1~2	国重要文化財
重要文化財保 管箱 7	考古資料	貝製品	マクラガイ玉No31~70	国重要文化財
重要文化財保管箱8	考古資料	貝製品	円盤状No1.2, 竜ハイNo3~5, 細ツノ玉No2, イモガイ玉No4	国重要文化財
重要文化財保 管箱 9	考古資料	貝製品	ノシガイ玉No1~12, 板状No1~9	国重要文化財
重要文化財保 管箱 10	考古資料	貝製品	太ツノ玉No1~22, 細ツノ玉 No3.6.8.9.12	国重要文化財
重要文化財保 管箱 11	考古資料	貝製品	貝匙No1~3	国重要文化財
重要文化財保 管箱 12	考古資料	貝製品	細ツノ玉No1	国重要文化財
重要文化財保 管箱 13	考古資料	貝製品	細ツノ玉No4.5	国重要文化財
重要文化財保 管箱 14	考古資料	貝製品	細ツノ玉No10	国重要文化財
重要文化財保 管箱 15	考古資料	貝製品	細ツノ玉No11	国重要文化財
重要文化財保 管箱 16	考古資料	貝製品	細ツノ玉No7.13	国重要文化財
重要文化財保 管箱 17	考古資料	貝製品	イモガイ玉No1	国重要文化財
重要文化財保 管箱 18	考古資料	貝製品	イモガイ玉No2.3.5~12	国重要文化財
重要文化財保 管箱 19	考古資料	貝製品	イモガイ玉No13.14.16~19.23.27	国重要文化財
重要文化財保 管箱 20	考古資料	貝製品	イモガイ玉No15	国重要文化財
重要文化財保 管箱 21	考古資料	貝製品	イモガイ玉No20	国重要文化財
重要文化財保 管箱 22	考古資料	貝製品	イモガイ玉No21	国重要文化財
重要文化財保 管箱 23	考古資料	貝製品	イモガイ玉No22	国重要文化財
重要文化財保 管箱 24	考古資料	貝製品	イモガイ玉No24	国重要文化財
重要文化財保 管箱 25	考古資料	貝製品	イモガイ玉No25	国重要文化財
重要文化財保 管箱 26	考古資料	貝製品	イモガイ玉No26, ガラス玉No1~28	国重要文化財
重要文化財保 管箱 27	考古資料	貝製品	石鏃No1~10,貝鏃NO1.2	国重要文化財
重要文化財保 管箱 28	考古資料	貝製品	土器残欠NO1~11	国重要文化財

収蔵箱番号	分類	小分類	内 容	備考
重要文化財保 管箱 29	考古資料	貝製品、石器	土器残欠NO12~22	国重要文化財
重要文化財保 管箱 30	考古資料	土器	土器残欠NO22~32.34	国重要文化財
重要文化財保管箱31	考古資料	土器	土器No1	国重要文化財
重要文化財保 管箱 32	考古資料	土器	土器No2	国重要文化財
重要文化財保 管箱 33	考古資料	土器	土器No3	国重要文化財
重要文化財保管箱34	考古資料	土器	土器No4、土器残欠No33	国重要文化財
1	考古資料	土器 石器	第25図 1 第29図 2~16 第30図 17~27 第31図 28~44 第32図 45~52 第33図 1~2(石器)	報告書 掲載品
2	考古資料	土器 石器 陶磁器	平成15年度 1T r 土器, 2Tr 土器•青磁, 5Tr 土器•石器	一般
3	考古資料	表採品 土壌サンプル	平成15年度 6T r 土壌サンプ ル ,遺跡周辺分布調査表採品	一般
4	考古資料	土器 石器 貝類	平成16年度 5Tr 土器・石器 4Tr 土器 7Tr 石器, 貝類 7Tr 土器, 貝類, サンゴ	一般
5	考古資料	土器 石器 陶磁器	平成16年度 8Tr 土器,石器,陶磁器 14Tr 土器 18Tr 石器,サンゴ 22Tr 土器,石器	一般
6	考古資料	土器、石器 陶磁器	平成16年度 9Tr 鉄さい,サンゴ,陶磁器 23Tr 土器,石器 24Tr 集積 (サンゴ)	一般
7	考古資料	土器、貝類 土壌サンプル	平成16年度 24Tr 貝類,サンゴ 25Tr 貝類,サンゴ 26Tr 貝類 27Tr 貝類, 土壌サンプル 28Tr 土器,石器 29Tr 土器、 石器,サンゴ,土壌サンプル	一般
	考古資料	石類	平成16年度 石類	一般
9	考古資料	軽石	平成16年度 軽石	一般
10	考古資料	土器 石器 貝類・獣骨	平成16年度 遺跡周辺表採,崖面A,B,対岸:土器, 貝類,獣骨 調査区周辺表採:土器,石器,陶磁器	一般
11	考古資料	土器 土壌サンプル	平成17年度 1Tr STO6 土壌サンプル 10Tr STO9 土器,土壌サンプル	一般
12	考古資料	土器 貝製品 炭化物	平成17年度 1Tr 土器, 貝製品 10Tr 土器, 貝製品 平成18年度 南1Tr 土器 南 5Tr 土器, 北1Tr 土器 平成17~18年度 炭化物	一般
13	考古資料	石器	平成17年度 1Tr 石器 5Tr 石器 旧トレ ンチ周辺 石器 10Tr 石器	一般
14	考古資料	石器	平成17年度 広田川崖 石器	一般

15 考古資料 限情 平成17~18年度 貝類 既骨 平成17年度 既骨 平成17年度 取骨 平成17年度 10Tr 以下 以下 以下 以下 以下 以下 以下 以	収蔵箱番号	分類	小分類	内 容	備考
16 考古資料 駅骨 平成17年度 駅骨 一般 平成17年度 駅骨 17 月類 18 月類 日末 日末 日末 日末 日末 日末 日末 日	15	考古資料	貝類 獣骨		一般
17 考古資料 貝類 STr UNIT VM 貝類 STr UNIT UNIT STr STr UNIT STr STr	16	考古資料			一般
19 考古資料 日報 日報 日報 日報 日報 日報 日報 日	17	考古資料	貝類 獣骨	平成17年度 1Tr 貝類, 獣骨 2Tr 獣骨 5Tr 貝類	一般
19 考古資料 只照 10Tr 頁溜まり, 崖面崩壊時採集 一般 一般 10Tr 屋面崩壊的採集 月類 収付 10Tr 屋面崩壊的採集 月類 収付 10Tr 屋面崩壊的採集 月類 収付 10Tr 屋面崩壊的採集 月類 収成 17年度 10Tr 区面川崖面 頁類 一般 22 考古資料 月類 平成 17年度 広田川崖面 頁類 一般 平成 17年度 広田川崖面 頁類 一般 平成 17年度 広田川崖面 頁類 一般 平成 18年度 市区、比区トレンチ 月類 平成 18年度 北区 ブローテー フローテー フローテー フリーテーション資料 出土不明 月類 日報 日報 日報 日報 日報 日報 日報 日	18	考古資料	貝類 獣骨		一般
20	19	考古資料		10Tr 貝溜まり,崖面崩壊時採集 貝類,獣骨	一般
21 5 5 5 5 5 5 5 5 5	20	考古資料	獣骨	10Tr 崖面崩壊砂採集 貝類,獣骨	一般
23 考古資料 貝類 平成17年度 広田川崖面 貝類② 一般 24 考古資料 貝類 平成18年度 南区、北区トレンチー般 一般 25 考古資料 フローテーション 資料 担土不明 貝類 一般 26 考古資料 人骨 平成18年度 市区近世1号人骨① 一般 27 考古資料 人骨 平成18年度 南区近世1号人骨① 一般 27 考古資料 人骨 平成18年度 南区近世1号人骨② 一般 28 考古資料 人骨 平成18年度 南区近世1号人骨③ 一般 29 考古資料 人骨 平成18年度 南区近世1号人骨③ 一般 30 考古資料 人骨 平成18年度 南区近世2号人骨⑥ 一般 31 考古資料 人骨 平成18年度 南区近世2号人骨⑥ 一般 32 考古資料 人骨 平成18年度 南区近世2号人骨⑥ 一般 33 考古資料 人骨 平成18年度 南区近世2号人骨⑥ 一般 34 考古資料 人骨 中福分町所蔵 人骨② 一般 35 考古資料 人骨 盛園先生寄贈資料 一般 36 考古資料 長 盛園先生寄贈資料 一般 37 <			獣骨	類, 獣骨	
24 考古資料 貝類 駅間 平成18年度 南区、北区トレンチ 一般 フローテー ション フローテーション資料 出土で明 貝類 出土で明 日本で成18年度 南区近世1号人骨① 一般 平成18年度 南区近世1号人骨③ 一般 平成18年度 南区近世1号人骨④ 一般 平成18年度 南区近世2号人骨④ 一般 平成18年度 南区近世2号人骨④ 一般 平成18年度 南区近世2号人骨⑥ 一般 平成18年度 南区近世2号人骨⑥ 一般 日本近世2号人骨⑥ 一般 日本近世2号人骨⑥ 一般 出土資明所蔵 人骨 空間先生寄贈資料 一般 出土資明所蔵 人骨② 日本経過先生寄贈資料 一般 日本経済・日本経済・日本経済・日本経済・日本経済・日本経済・日本経済・日本経済・	22	考古資料	貝類	平成17年度 広田川崖面 貝類①	一般
24 考古資料 貝類 駅間 平成18年度 南区、北区トレンチ 一般 フローテー ション フローテーション資料 出土で明 貝類 出土で明 日本で成18年度 南区近世1号人骨① 一般 平成18年度 南区近世1号人骨③ 一般 平成18年度 南区近世1号人骨④ 一般 平成18年度 南区近世2号人骨④ 一般 平成18年度 南区近世2号人骨④ 一般 平成18年度 南区近世2号人骨⑥ 一般 平成18年度 南区近世2号人骨⑥ 一般 日本近世2号人骨⑥ 一般 日本近世2号人骨⑥ 一般 出土資明所蔵 人骨 空間先生寄贈資料 一般 出土資明所蔵 人骨② 日本経過先生寄贈資料 一般 日本経済・日本経済・日本経済・日本経済・日本経済・日本経済・日本経済・日本経済・	23		貝類	平成17年度 広田川崖面 貝類②	一般
25 考古資料 ション 貝類 フローテーション資料 出土不明 貝類 用土不明 巨類 一般 中成18年度 南区近世1号人骨② 一般 平成18年度 南区近世1号人骨③ 一般 平成18年度 南区近世2号人骨④ 一般 平成18年度 南区近世2号人骨④ 一般 平成18年度 南区近世2号人骨⑥ 一般 三方資料 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日		i	貝類	平成18年度 南区,北区トレンチ	
26 考古資料 中成17年度 北側崖面表採人骨 中級18年度 一般 中成18年度 一般 南区近世1号人骨① 一般 南区近世1号人骨② 一般 南区近世1号人骨③ 一般 兩区近世1号人骨③ 一般 兩区近世1号人骨③ 一般 兩区近世1号人骨④ 一般 兩区近世1号人骨④ 一般 兩区近世2号人骨④ 一般 平成18年度 南区近世2号人骨④ 一般 平成18年度 南区近世2号人骨⑤ 一般 平成18年度 南区近世2号人骨⑥ 一般 平成18年度 南区近世2号人骨⑥ 一般 母亲 古資料 人骨 平成18年度 南区近世2号人骨⑥ 一般 母亲 古資料 人骨 平成18年度 南区近世2号人骨⑥ 一般 母亲 于海岭 人骨① 一般 母亲 于海岭 人骨① 一般 母亲 于海岭 人骨② 一般 母亲 于海岭 人骨④ 一般 母亲 古資料 母亲 古資料 母亲 大学需長類研究所 中報 子海大学需長類研究所 東磁先生海贈資料④ 一般 母亲 大資料 母亲 大家資料 一般 母亲 大家資料 母亲 大家資料 母亲 大家資料 一般 子成17年度 1~3,101年度 中成17年度 1~3,101年度 中成17年度 1~3,101年度 平成18年度 調査出土石類 一般 中成17年度 1~3,101年度 調査出土石類 一般 中成19年度 澳浜渡遺跡工事立会 一般 母亲 古資料 石類 平成17~18年度 調査出土石類 一般 平成19年度 奥浜渡遺跡工事立会 一般 出土遺物 一般 母亲 古資料 石類 中域19年度 出土遺物 一般 母亲 古資料 石類 中域19年度 出土遺物 一般 一般 一般 一般 一般 母亲 古資料 石類 中域19年度 典流渡遺跡工事立会 一般 出土遺物 一般 中域19年度 典流渡遺跡工事立会 一般 一般 一般 一般 一般 一般 母亲 古資料 日期 中域19年度 地流渡遺跡工事立会 一般 出土遺物 一般 一	25	考古資料	ション	プル フローテーション資料	一般
27 考古資料 人骨 平成18年度 南区近世1号人骨② 一般 28 考古資料 人骨 平成18年度 南区近世1号人骨③ 一般 29 考古資料 人骨 平成18年度 南区近世2号人骨④ 一般 30 考古資料 人骨 平成18年度 南区近世2号人骨⑤ 一般 31 考古資料 人骨 平成18年度 南区近世2号人骨⑥ 一般 32 考古資料 人骨 平成18年度 南区近世2号人骨⑥ 一般 32 考古資料 人骨 平成18年度 市区近世2号人骨⑥ 一般 33 考古資料 人骨 盛園先生寄贈資料 一般 34 考古資料 人骨 盛園先生寄贈資料 一般 35 考古資料 人骨 盛園先生寄贈資料 一般 36 考古資料 基品 盛園先生寄贈資料 一般 37 考古資料 監督 盛園先生寄贈資料 一般 38 考古資料 財費 盛園先生寄贈資料 一般 39 考古資料 財費 盛園先生寄贈資料 一般 39 考古資料 原成先生資料 一般	26	考古資料	人骨	平成17年度 北側崖面表採人骨	一般
28 考古資料 人骨 平成18年度 南区近世1号人骨③ 一般 29 考古資料 人骨 平成18年度 南区近世2号人骨④ 一般 30 考古資料 人骨 平成18年度 南区近世2号人骨⑤ 一般 平成18年度 南区近世2号人骨⑥ 一般 31 考古資料 人骨 平成18年度 南区近世2号人骨⑥ 一般 一般 32 考古資料 人骨 盛園先生寄贈資料 一般 小櫃子町所蔵 人骨① 一般 「基礎 上寄贈資料 一般 小櫃子町所蔵 人骨② 小服 小櫃子町所蔵 人骨② 小服 小個子町所蔵 人骨② 小服 小個子町所蔵 人骨③ 小服 小個子町所蔵 人骨④ 小服 小服 小服 小服 小服 小服 小服 小	2.7	考古資料	人骨		一般
29 考古資料 人骨 平成18年度 南区近世2号人骨④ 一般 30 考古資料 人骨 平成18年度 南区近世2号人骨⑤ 一般 31 考古資料 人骨 平成18年度 南区近世2号人骨⑥ 一般 32 考古資料 人骨 平成18年度 南区近世2号人骨⑥ 一般 小種子町所蔵 人骨① 一般 小種子町所蔵 人骨① 一般 小種子町所蔵 人骨② 一般 小種子町所蔵 人骨② 小子 小母子町所蔵 人骨② 小子 小母子町所蔵 人骨③ 小子 小子 小子 小子 小子 小子 小子 小					
30 考古資料 人骨 平成18年度 南区近世2号人骨⑤ 一般 1 1 1 1 1 1 1 1 1					
31 考古資料 人骨 平成18年度 南区近世2号人骨⑥ 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一					
32 考古資料 人骨					
33 考古資料 人骨 中種子町所蔵 人骨① 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一		与口具件	八月		
33 考古資料 人骨 中種子町所蔵 人骨② 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一	32	考古資料	人骨	中種子町所蔵 人骨①	一般
34 考古資料 八宵 中種子町所蔵 人骨③ 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一	33	考古資料	人骨	中種子町所蔵 人骨②	一般
19 19 19 19 19 19 19 19	34	考古資料	人骨	中種子町所蔵 人骨③	一般
37 考古資料 貝、鉄	35	考古資料			一般
37	36	考古資料	貝、鉄	盛園先生寄贈資料①	一般
38 考古資料 獣骨 京都大学霊長類研究所 東磁先生資料 一般 39 考古資料 具類 獣骨 盛園先生寄贈資料④ 表採資料 一般 40 考古資料 軽石 平成17年度 1~3,10Tr,崖面 軽石 平成18年度 1,2,5Tr 軽石 一般 41 考古資料 石類 サンゴ 平成18年度 3Tr 石類,サンゴ 一般 42 考古資料 石類 平成17~18年度 調査出土石類 一般 43 考古資料 石類 平成19年度 奥浜渡遺跡工事立会 出土遺物 一般	37	考古資料			一般
39 考古資料 貝類 獣骨 盛園先生寄贈資料④ 表採資料 一般 40 考古資料 軽石 平成17年度 平成18年度 1~3,10Tr,崖面 軽石 平成18年度 1,2,5Tr 軽石 一般 41 考古資料 石類 サンゴ 平成18年度 3Tr 石類,サンゴ 平成17~18年度 調査出土石類 一般 42 考古資料 石類 平成17~18年度 調査出土石類 平成19年度 奥浜渡遺跡工事立会 出土遺物 一般	38	考古資料	獣骨	京都大学霊長類研究所	一般
40 考古資料 軽石 平成18年度 1,2,5Tr 軽石 41 考古資料 石類 サンゴ 平成18年度 3Tr 石類,サンゴ 一般 42 考古資料 石類 平成17~18年度 調査出土石類 一般 43 考古資料 石類 平成19年度 奥浜渡遺跡工事立会 出土遺物	39	考古資料	貝類 獣骨	表採資料	一般
41 考古資料 サンゴ 十成18年度 311 石類, サンゴ 一般 42 考古資料 石類 平成17~18年度 調査出土石類 一般 43 考古資料 石類 平成19年度 奥浜渡遺跡工事立会 出土遺物 一般	40	考古資料			一般
43 考古資料 石類 平成19年度 奥浜渡遺跡工事立会 一般 出土遺物	41		石類 サンゴ		
43 写白貝科 口短 出土遺物 一版	42	考古資料	石類	平成17~18年度 調査出土石類	一般
	43	考古資料	石類	平成19年度 奥浜渡遺跡工事立会 出土遺物	一般
	44	考古資料	サンゴ		一般

収蔵箱番号	分類	小分類	内 容	備考
45	考古資料	サンゴ	平成17年度 1Tr サンゴ,10Tr ST09 サンゴ	一般
46	考古資料	サンゴ	平成17年度 1Tr ST01 サンゴ	一般
47	考古資料	サンゴ 砂サンプル	平成17年度 10Tr ST09 サンゴ,砂サンプル 焼土溜 サンゴ	一般
48	考古資料	サンゴ	平成17年度 10Tr 広田川崖面,下 層確認Tr サンゴ	一般
49	考古資料	サンゴ	平成18年度 トレンチ出土 サンゴ	一般
50	考古資料	砂サンプル	平成17年度 ST02,03,08 砂サ ンプル	一般
51	考古資料	砂サンプル	平成17年度 ST06 砂サンプル	一般
52	考古資料	砂サンプル	平成17年度 10Tr ST01 砂サンプル	一般
53	考古資料	砂サンプル	平成17年度 10Tr ST09 砂サンプル①	一般
54	考古資料	砂サンプル	平成17年度 10Tr ST09 砂サンプル②	一般
55	考古資料	フローテー ション	平成17年度 トレンチ砂 フローテーション資料	一般
56	考古資料	砂サンプル	平成17年度 トレンチ砂サンプル	一般
57	考古資料	砂サンプル	平成17年度 STO3 砂サンプル 平成18年度 トレンチ砂サンプル①	一般
58	考古資料	砂サンプル	平成18年度 トレンチ砂サンプル②	一般
59	考古資料	土壌サンプル	平成19年度 広田川河川工事 土壌サンプル	一般

収蔵図書一覧

	·覧 	双	邓仁左
登録番号	文献名	発行者	発行年
0001	第3回 かごしま・人・まち・デ ザイン賞	鹿児島県 企画部地域政策 課 土木部都市計画課	2016年3月
0002	黎明館調査研究報告 第28集	鹿児島県歴史資料センター 黎明館	2016年3月
0003	宇検村墓地調査報告書	宇検村文化財活性化実行委員会	2016年3月
0004	鹿児島大学総合研究博物館 News Letter No.38	鹿児島大学総合研究博物館	2016年2月
0005	鹿児島大学総合研究博物館年報 No.14 2014	鹿児島大学総合研究博物館	2016年2月
0006	成川式土器ってなんだ?	鹿児島大学総合研究博物館	2015年9月
0007	大隅大崎 神領 10 号墳の研究 I	鹿児島大学総合研究博物館	2016年2月
0008	『港巡り』九州一周の旅	長田 睦郎	2013年1月
0009	海と島に生きる	沖縄県立博物館・美術館 博物館展示案内	2012年3月
0010	KOMATU STONE BOOK	小松市役所 観光交流課	2016年11月
0011	南種子町埋蔵文化財発掘調査報告書 (15) 廣田遺跡	鹿児島県南種子町教育委員会	2007年9月
0012	最新学説で読み解く 日本の古代史	株式会社 宝島社	2017年3月
0013	八日市地方遺跡-地中から今、弥 生時代が甦る-	石川県小松市教育委員会埋 蔵文化財調査室	2006年11月
0014	黎明館企画特別展 SHOWA.39 ~ 64 一語り継ぐ記憶-	鹿児島県歴史資料センター 黎明館	2015年9月
0015	南種子町民俗資料調査報告書 (4) 種子島南種子の座敷舞	南種子町教育委員会	2015年3月
0016	紫川大図鑑	福岡県立北九州高等学校 魚部	2011年7月
0017	素晴らしい日本文化の起源 岡村道雄が案内する縄文の世界	株式会社 宝島社	2015年6月
0018	響灘ビオトープの水辺の生き物	福岡県立北九州高等学校 魚部	2013年10月
0019	南種子町民俗資料調査報告書 (3) 種子島宝満神社のお田植え祭	南種子町教育委員会	2014年3月
0020	史跡赤木名城跡保存管理計画書	奄美市教育委員会	2015年3月
0021	国史跡広田遺跡史跡整備事業報告 書	南種子町教育委員会	2015年3月
0022	黎明館企画特別展 八幡神の遺宝	鹿児島県歴史資料センター 黎明館	2016年9月
0023	ミュージアムの学びをデザインする	株式会社 ぎょうせい	2009年3月
0024	かごしま水族館 開館 15 周年記念	公益財団法人鹿児島市水族 館公社	2012年5月
0025	広田Ⅲ遺跡・横峯遺跡 B・F 遺跡・ 一陣長崎鼻遺跡	南種子町教育委員会	2016年3月
0026	天城町埋蔵文化財発掘調査報告書 (7) 戸森の線刻画調査報告書	天城町教育委員会	2016年3月
0027	第30回国民文化祭・かごしま 2015 公式記録	文化庁	2016年3月
0028	南種子町の文化財	南種子町教育委員会・南種 子町文化財保護審議会	2010年3月
0029	第 30 回国文祭・かごしま 2015 「黒 潮が育んだ古代文化と宇宙芸術展」	第 30 回国民文化祭 南種子町実行委員会	
0030	美術館・博物館の展示 理論から 実践まで	小城 武彦	2004年3月
0031	町制施行三十周年記念事業 南種子町郷土誌	南種子町長 中峯 薫	1987年3月
0032	熊野・古座街道、種子島みち ほか	司馬 遼太郎・花井 正和	2005年7月
0033	国立歷史民俗博物館研究報告 第 38 集	国立歴史民俗博物館	1992年3月

登録番号	文 献 名	発 行 者	発行年
0034	国立歷史民俗博物館研究報告 第 58 集	国立歴史民俗博物館	1994年12月
0035	国立歴史民俗博物館研究報告 第 59 集	国立歴史民俗博物館	1994年12月
0036	国立歴史民俗博物館研究報告 第 66 集	国立歴史民俗博物館	1996年2月
0037	国立歷史民俗博物館研究報告 第 68 集	国立歴史民俗博物館	1996年3月
0038	国立歷史民俗博物館研究報告 第70集	国立歴史民俗博物館	1997年1月
0039	ハンズ・オンは楽しい 見て、さ わって、遊べるこどもの博物館	中上千里夫	1996年11月
0040	古代エジプト文明 3000 年の世界	京都文化博物館 学芸課	2005年2月
0041	ひとりごと〜宇治キャンパスの四 季折々〜	安本義正	2016年3月
0042	『丹後・東海地方のことばと文化』 〜兄弟のようなことばを持つ両地 方〜	京丹後市教育委員会	2015年5月
0043	宇宙をみる眼 アートと天文学の コラボレーション	山ノ内町立 志賀高原ロマン美術館	2015年12月
0044	『和』の幸せ情報誌『WAGO』 平成 28 年第 18 号 神社と元気に なろう!	株式会社偶庵	2016年1月
0045	『和』の幸せ情報誌『WAGO』 平成 28 年第 20 号 神社と元気に なろう!	株式会社偶庵	2016年7月
0046	よみがえる古代の稲穂	安本義正	2013年3月
0047	一般財団法人 松下美術館報 No.31	一般財団法人 松下美術館	2016年3月
0048	龍王山をめぐる信仰と人々 - 山岳寺 院の軌跡 -	茨木市立文化財資料館	2015年10月
0049	絵図で楽しむ茨木 -江戸時代の村を巡る-	茨木市立文化財資料館	2016年10月
0050	茨木に眠る資料 一免山篤コレクションを中心に-	茨木市立文化財資料館	2014年10月
0051	青い海の宇宙港 春夏篇	早川 浩	2016年7月
0052	青い海の宇宙港 秋冬篇	早川 浩	2016年8月

写真等資料台帳

75	寺	7万 (好はも)	写古 (姓はよ)			
No	ファイル名	写真(紙焼き) L版	与具(紙焼さ) 大	ネガフィルム	ポジフィルム	新聞
1	盛園先生 広田ポジ				230	
2	平成 17 年度 広田遺跡 (No.1)				225	
3	平成 17 年度 広田遺跡 (No.2)				248	
4	平成 17 年度 広田遺跡 (No.3)				179	
5	平成 17 年度 広田遺跡 (No.4)				269	
6	平成 17 年度 広田遺跡 (No.5)				266	
7	平成 18 年度 広田遺跡 (No.1)				193	
8	平成 18 年度 広田遺跡 (No.2)				148	
9	広田遺跡報告書 使用スライド	94				
10	広田遺跡貝札・貝符ネガ	13				
11	盛園先生寄贈 鳥ノ峰遺跡 モノクロ写真	5				
12	広田遺跡	13		25		
13	平成 17 年度 広田遺跡 (カラー No.1)	462				
14	平成 17 年度 広田遺跡 (カラー No.2)	411				
15	平成 17 年度 広田遺跡 (カラー No.3)	414		10		
16	南種子町 プリント分	25		10		
17	広田遺跡関係写真	167				
18	広田遺跡南種子町教育委 員会所蔵写真	40	3			
19	広田遺跡発掘調査に伴う 空中写真撮影業務委託	14		24		
20	盛園先生資料 (新聞切抜き) 広田、一陣長崎鼻					14
21	盛園先生広田写真	83				
22	平成 18 年度 広田遺跡 (モノクロ)	69		69		
23	広田遺跡写真 / ネガ	35		16		
24	盛園先生寄贈品 広田遺跡 (モノクロ四つ切り)	8				
	小 計	1853	3	154	1758	14

写真資料:3,768 点 新聞等資料:14 点



広田遺跡公園入口



広田遺跡公園南側墓群



広田遺跡ミュージアム駐車場



広田遺跡ミュージアム入口



重要文化財広田遺跡出土品



館内展示



館内展示



館内展示



エントランスホール



映像コーナー



体験学習室



特別展示室



屋外体験学習エリア



展示室



展示室



特別収蔵庫



広田遺跡語り部の会



語り部による案内



語り部ボランティア



岩穴焚き



岩穴焚き



開館記念企画展



開館記念企画展



企画展の様子



企画展の様子



企画展ワークショップ



企画展ワークショップ



ゴールデンウィーク体験学習



下野敏見名誉館長による指導

広田遺跡ミュージアム館報 第1号

発行日 2017年3月31日

編集•発行

広田遺跡遺跡ミュージアム 〒 891-3702 鹿児島県熊毛郡南種子町平山 2571 TEL 0997(24)4811

印刷所

何種子島新生社印刷

〒 891-3101 鹿児島県西之表市西之表 16736 番地 1 TEL 0997(22)0476

BULLETIN OF HIROTA SITE MUSEUM

Volume 1

March 2017

MINAMITANE TOWN HIROTA SITE MUSEUM